

平成25年度

大阪市こころの健康センター 所 報

大阪市こころの健康センター

はじめに

平成 25 年度大阪市こころの健康センター所報の刊行に際しまして、ご挨拶申し上げます。

今年、平成 26 年は、「精神保健医療福祉の改革ビジョン」が発表された平成 16 年 9 月から 10 年目にあたります。入院医療中心から地域生活中心へ、という基本的方策に沿った施策の充実が図られ、特に精神科病院への長期入院者について、今後 10 年間で、受入条件を整えば退院可能な約 7 万人（その数字の根拠には議論がありますが）について解決を図り、その分の病床数を削減するとされました。

しかしながら 10 年目の現在、計画は緩慢にしか進んでいない状況です。これを病院の責任とするのは誤りで、原因は単純ではありませんが、地域移行に関わる現場から聞かれる声は、住居の問題と退院意欲の喚起の難しさです。

10 年、20 年ときには 30 年以上に及ぶ超長期入院者は、単身での社会生活経験を得る機会を奪われていたことから、地域移行後には生活面でさまざまな支援を必要とします。長期入院者の高齢化が進む現在、グループホームへの退院を選択肢のひとつに用意されていなければなりません。

障がい福祉計画ではグループホーム等の充実が掲げられ、各自治体ではそれぞれの計画に従い整備に努めているところですが、十分な数には達していないと考えられます。用地の問題、予算の問題、職員の確保、建設反対運動などが原因として挙げられ、いずれも簡単には解決しない問題です。

そのような中、厚生労働省の会議（「精神障害者に対する医療の提供を確保するための指針等に関する検討会」）にて病棟転換型居住系施設が検討の対象とされたことから、論議を呼んでいます。これは既存の病棟をグループホーム化するという案ですが、賛成派と反対派の溝は大きく、今後どのように進展するか予想ができません。

一方、本年 4 月 1 日に施行されました改正精神保健福祉法では保護者制度が廃止され、明治 33 年公布・施行の精神病者監護法以来、実に 114 年目にして精神障害者の家族に課せられた義務規定が撤廃されました。家族が面倒をみて当然、という考え方は、日本や韓国のように家族主義的な文化の強い東アジアに特徴的とされますが、それを法律で義務化したのは他国に例がありませんでした。

新規入院者の入院期間短縮が進み、保護者制度が廃止され、入口の部分は「入院から地域へ」という基本方策に沿って、確実に変化が進んでいるようです。しかしながら、入院中心主義であった過去の証人である長期入院者問題をうやむやにしたままでは、改革としては不十分になってしまいます。そして、そのおそれは相当な程度、現実になりつつあるようです。間に合ううちにできるだけことをする、という後ろ向きかもしれませんが、当センターとして変わらず取り組んでいきたいと考えております。

平成 26 年 12 月

大阪市こころの健康センター
所長 以倉 康充

目 次

第1 概 要

| | |
|-----------------|---|
| 1 施設の概要 ----- | 1 |
| (1) 開設 ----- | 1 |
| (2) 所在地 ----- | 1 |
| (3) 延べ床面積 ----- | 1 |
| (4) 平面図 ----- | 1 |
| 2 組織・職員 ----- | 2 |
| (1) 組織 ----- | 2 |
| (2) 職員 ----- | 2 |
| 3 予算・決算 ----- | 3 |

第2 事業実績

| | |
|---------------------------------|----|
| 1 精神保健福祉センター業務 ----- | 7 |
| (1) 技術指導及び技術援助 ----- | 7 |
| (2) 教育研修 ----- | 7 |
| ア 精神保健福祉関係職員研修 ----- | 7 |
| (ア) 新任研修 ----- | 7 |
| (イ) 新任精神保健福祉関係職員フォロー研修 ----- | 9 |
| (ウ) 現任研修(全体研修) ----- | 9 |
| (エ) 現任研修(課題別研修) ----- | 10 |
| (オ) 現任研修(ブロック別研修) ----- | 11 |
| (カ) 新任期保健師精神保健福祉研修 ----- | 12 |
| イ 精神保健福祉関係 人材養成研修 ----- | 12 |
| ウ 大阪府・市合同 精神保健福祉業務従事者研修 ----- | 13 |
| (3) 普及啓発 ----- | 13 |
| ア こころの健康講座 ----- | 13 |
| イ こころのボランティア講座 ----- | 13 |
| ウ 思春期関連問題啓発講座 ----- | 13 |
| エ 薬物関連問題講座及びイベント ----- | 14 |
| オ 薬物依存症に悩む人たちを支える家族のための教室 ----- | 15 |

| | | |
|------|-----------------------|----|
| (4) | 調査研究 | 15 |
| (5) | 技術支援 | 16 |
| | ア 関係機関への一般相談 | 16 |
| | イ でかけるチーム精神保健相談 | 17 |
| | ウ 個別支援 | 18 |
| (6) | 精神保健福祉相談 | 19 |
| | ア 思春期問題相談 | 19 |
| | イ 薬物関連問題相談 | 20 |
| | ウ こころの悩み電話相談 | 21 |
| (7) | 自殺防止対策事業 | 21 |
| | ア 自死遺族相談 | 22 |
| | イ 自殺未遂者相談支援事業 | 22 |
| | ウ ゲートキーパーの養成 | 22 |
| | エ アルコール関連問題に係る支援者育成事業 | 24 |
| | オ 自殺予防週間の取り組み | 24 |
| | カ 自殺対策強化月間の取り組み | 24 |
| | キ うつ病予防の普及啓発 | 25 |
| | ク うつ病の家族教室 | 25 |
| | ケ 大阪市自殺対策検討連絡会議 | 25 |
| (8) | ひきこもり相談窓口事業 | 26 |
| (9) | 認知症疾患医療センター | 29 |
| (10) | 組織の育成 | 29 |
| (11) | 精神医療審査会 | 29 |
| | ア 開催状況 | 29 |
| | イ 入院届・定期病状報告の審査状況 | 29 |
| | ウ 退院・処遇改善請求の審査状況 | 30 |
| | エ 実施審査状況 | 30 |

| | | |
|------|----------------------------|----|
| 2 | 精神保健福祉主管課業務 | 31 |
| (1) | 精神保健福祉審議会運営 | 31 |
| ア | 自殺防止対策部会 | 31 |
| (2) | 措置・緊急措置診察(入院)業務 | 31 |
| ア | 措置診察 | 31 |
| イ | 緊急措置診察 | 32 |
| (3) | 医療保護入院等の移送事業 | 32 |
| (4) | 自立支援医療費(精神通院)支給認定・手帳交付会議運営 | 32 |
| (5) | 精神障がい者保健福祉手帳の交付 | 33 |
| ア | 市営交通料金福祉措置 | 33 |
| イ | 水道料金・下水道料金福祉措置 | 33 |
| (6) | 自立支援医療費(精神通院)の支給認定 | 33 |
| (7) | 精神障がい者地域生活移行支援事業 | 33 |
| ア | 地域生活移行支援事業の実施状況 | 34 |
| イ | ピアサポーターによる啓発活動 | 34 |
| ウ | ピアサポーター交流会 | 35 |
| エ | ピアサポーター養成講座 | 36 |
| オ | 技術支援・コーディネート | 37 |
| カ | 相談支援事業所への研修 | 37 |
| キ | 地域生活移行支援会議 | 37 |
| (8) | 心神喪失者医療観察法に基づく社会復帰支援事業 | 38 |
| (9) | 精神科救急医療体制整備事業 | 38 |
| ア | こころの救急相談の設置(電話相談) | 38 |
| イ | 精神科救急医療情報センターの設置 | 39 |
| ウ | 一次救急医療体制の整備 | 39 |
| エ | 二次救急医療体制の整備 | 39 |
| オ | 身体合併症治療体制の確保 | 39 |
| (10) | 精神保健福祉に関する予算・決算業務 | 44 |

第3 資料

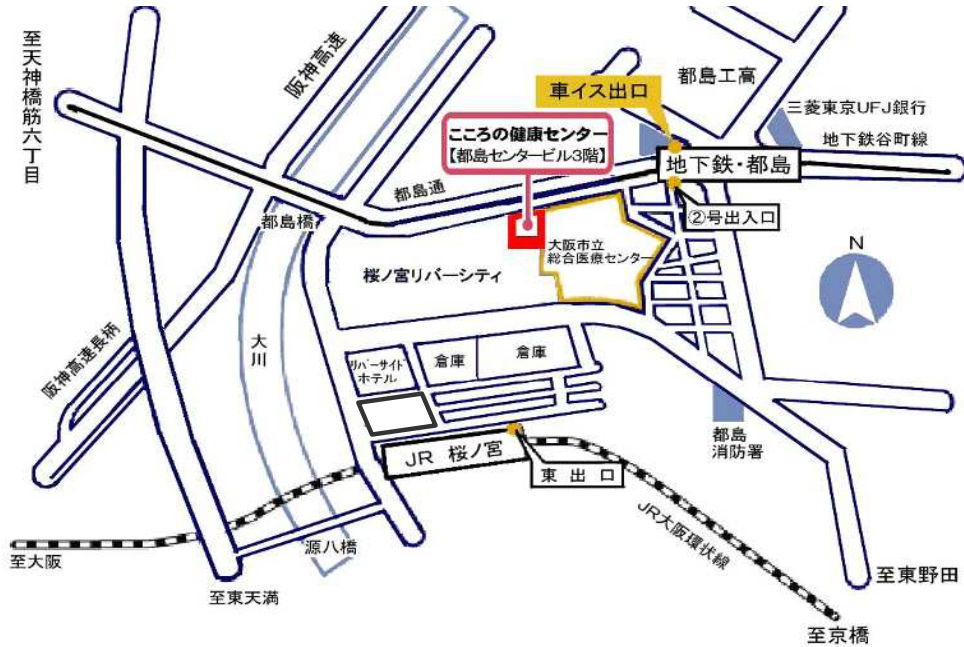
| | | |
|-----|-----------------------------|----|
| 1 | 大阪市精神保健福祉審議会 開催内容 | 45 |
| 2 | 精神医療審査会 | 51 |
| (1) | 運営状況 | 51 |
| (2) | 実地審査状況 | 52 |
| 3 | 措置（緊急措置）診察・入院状況 | 53 |
| 4 | 精神障がい者保健福祉手帳交付状況 | 54 |
| 5 | 精神障がい者保健福祉手帳所持者数 | 55 |
| 6 | 自立支援医療費（精神通院）受給者数状況 | 55 |
| 7 | 自立支援医療費（精神通院）受給者数 | 55 |
| 8 | 保健福祉センターにおける相談指導の状況 | 56 |
| 9 | 保健福祉センターにおける一般クリニックの状況 | 57 |
| 10 | 保健福祉センターにおけるグループワーク・酒害教室の状況 | 58 |

第 1 概 要

1 施設の概要

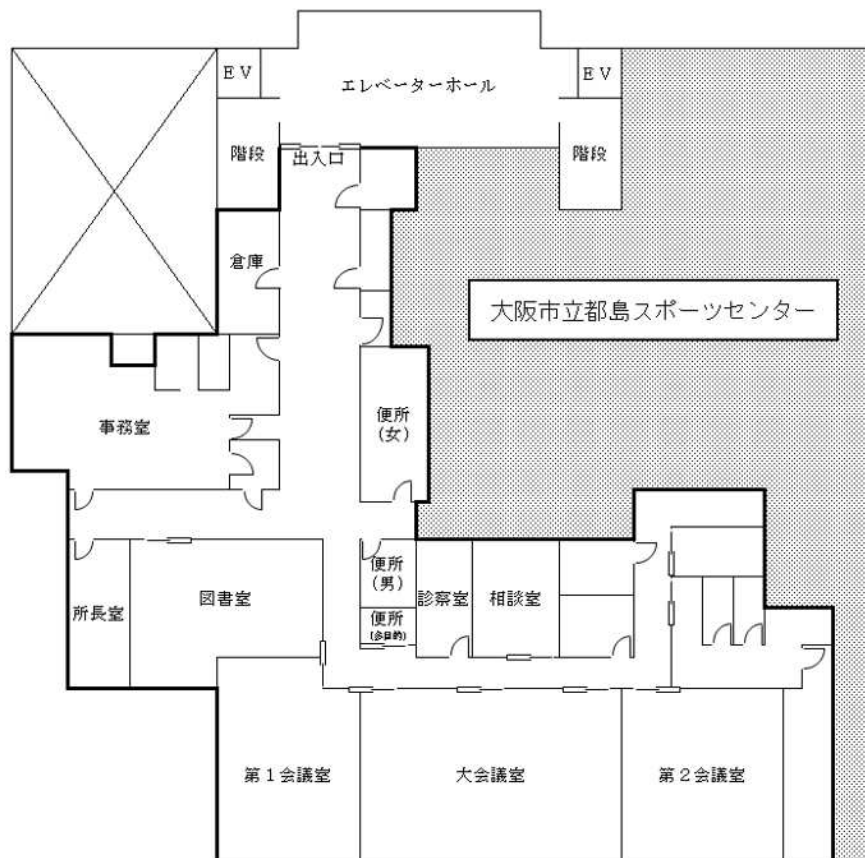
(1) 開設 平成12年4月1日

(2) 所在地 大阪市都島区中野町5丁目15番21号 都島センタービル3F



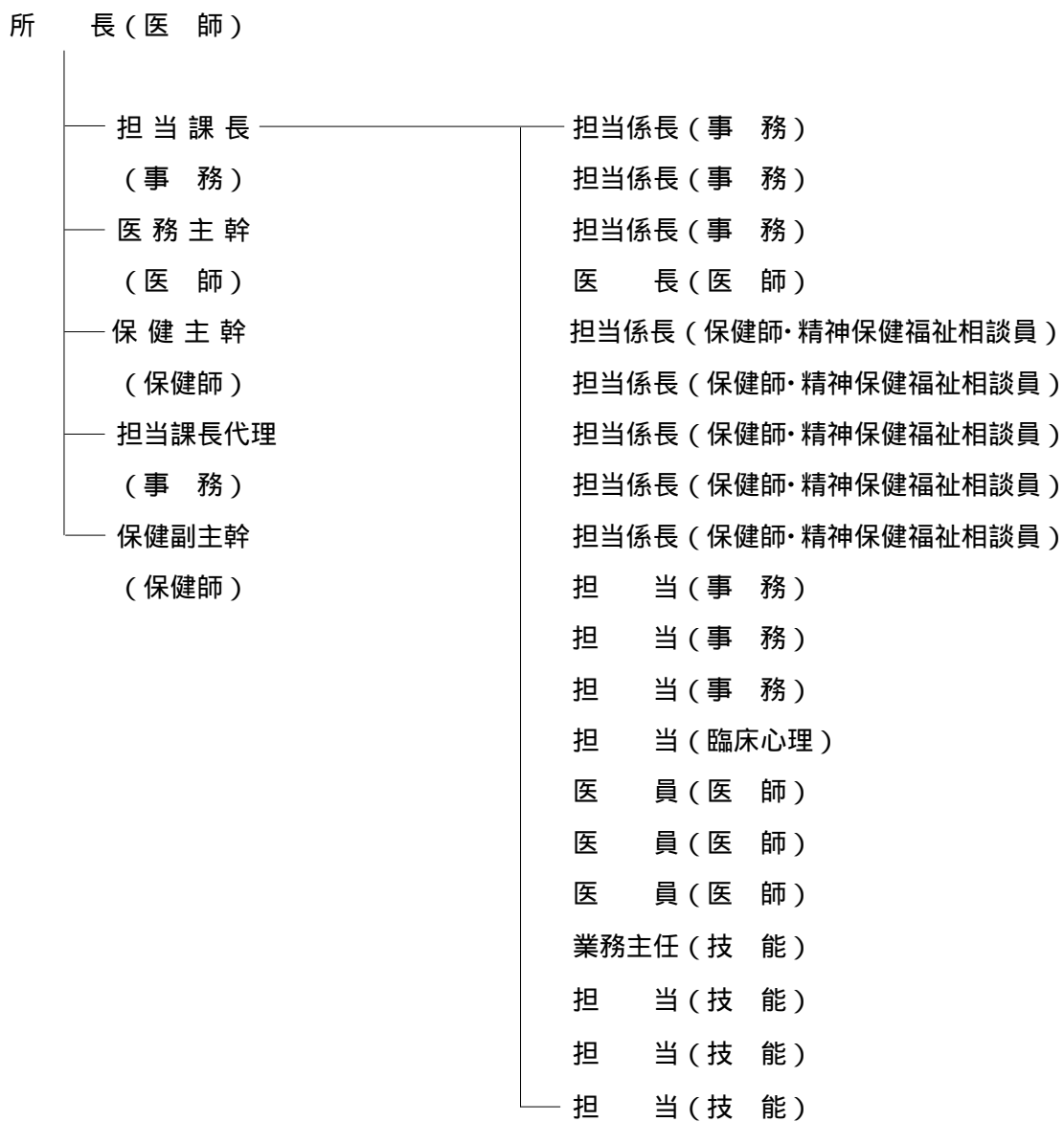
(3) 延べ床面積 992.75㎡

(4) 平面図



2 組織・職員（平成25年5月1日現在）

（1）組織



（2）職員

| | 事 務 | 臨床心理 | 医 師 | 保 健 師 | 技 能 | 計 | 精神保健福祉相談員 （再 掲） | |
|-----|-----|------|-----|-------|-----|----|--------------------|---------|
| | | | | | | | 保 健 師 | 福 祉 職 員 |
| 人 数 | 8 | 1 | 6 | 7 | 4 | 26 | 5 | 0 |

3 予算・決算

(1) 歳入

(単位：千円)

| 事 項 | 平成26年度予算 | 平成25年度決算 |
|-------------------------|-----------|-----------|
| 第1部 | 4,899,846 | 4,489,996 |
| 使用料 | 1,029 | 894 |
| でかけるチーム精神保健相談事業（診療報酬） | 40 | 0 |
| 精神科救急医療体制の整備事業（診療報酬） | 989 | 894 |
| 手数料 | 15 | 0 |
| こころの健康センター管理運営費（診断書料） | 15 | 0 |
| 国庫負担金 | 4,835,796 | 4,417,798 |
| 精神障がい者通院医療費 | 4,710,398 | 4,286,599 |
| 措置・緊急措置診察及び入院事業 | 3,825 | 4,132 |
| 措置入院費公費負担事業 | 121,573 | 127,067 |
| 国庫補助金 | 58,266 | 65,789 |
| 思春期関連問題相談事業 | 350 | 364 |
| 薬物乱用防止対策事業 | 20 | 20 |
| ひきこもり相談窓口事業 | 1,807 | 1,629 |
| 精神保健福祉・社会復帰相談指導事業 | 337 | 326 |
| 自殺防止対策事業 | 199 | 792 |
| 精神科救急医療体制の整備事業 | 30,284 | 30,287 |
| 措置・緊急措置診察及び入院事業 | 25,122 | 24,833 |
| 医療保護入院等のための移送事業 | 147 | 281 |
| 認知症疾患医療センター運営事業 | - | 7,257 |
| 府補助金 | 4,718 | 4,262 |
| 自殺防止対策事業 | 4,718 | 4,262 |
| 雑入 | 22 | 1,253 |
| 市営交通料金福祉措置（広告料収入） | 22 | 11 |
| 精神障がい者通院医療費（医療費返還金等） | - | 1,231 |
| こころの健康センター管理運営費（紙類売払等） | - | 9 |
| 精神保健福祉・社会復帰相談指導事業（源泉追徴） | - | 1 |
| 精神保健福祉対策促進事業（源泉追徴） | - | 1 |
| 第2部 | - | 315 |
| 国庫補助金 | - | 315 |

| | | | |
|---|---------------|-----------|-----------|
| | ホームレス精神保健相談事業 | - | 315 |
| 計 | | 4,899,846 | 4,490,311 |

(2) 歳出

(単位：千円)

| 事 項 | | 平成26年度予算 | 平成25年度決算 |
|-------------------------|--|------------|-----------|
| 第1部 | | 10,478,179 | 9,566,015 |
| 健康総務費 | | 33,602 | 37,171 |
| 総合福祉システム（福祉五法システム）運用経費 | | 33,602 | 29,749 |
| 水道料金福祉措置 | | - | 4,741 |
| 下水道料金福祉措置 | | - | 2,681 |
| 保健医療費 | | 10,444,577 | 9,528,844 |
| 精神障がい者通院医療費 | | 9,512,398 | 8,659,086 |
| こころの健康センター管理運営費 | | 14,872 | 11,747 |
| 精神保健福祉従事職員研修 | | 1,063 | 889 |
| 精神保健福祉審議会費 | | 241 | 136 |
| 精神保健福祉普及啓発事業 | | 1,167 | 628 |
| 思春期関連問題相談事業 | | 1,050 | 1,105 |
| 薬物乱用防止対策事業 | | 1,117 | 944 |
| でかけるチーム精神保健相談事業 | | 679 | 642 |
| ひきこもり相談窓口事業 | | 3,613 | 3,258 |
| 精神保健福祉・社会復帰相談指導事業 | | 29,366 | 30,274 |
| 自殺防止対策事業 | | 5,115 | 4,847 |
| 薬物依存症者等ケア強化事業 | | 1,990 | - |
| 市長入院同意患者面接事業 | | 466 | 207 |
| 精神科救急医療体制の整備事業 | | 96,060 | 84,636 |
| 措置・緊急措置診察及び入院事業 | | 92,166 | 78,094 |
| 措置入院費公費負担事業 | | 162,158 | 153,409 |
| 精神医療適正化事業 | | 4,212 | 4,336 |
| 心神喪失者等医療観察法に基づく社会復帰支援事業 | | 128 | 101 |
| 精神障がい者保健福祉手帳交付事業 | | 2,118 | 1,237 |
| 市営交通料金福祉措置 | | 514,598 | 466,671 |
| 精神保健福祉対策促進事業 | | - | 5,918 |
| 認知症疾患医療センター運営事業 | | - | 20,679 |

| | | |
|---------------------------|------------|-----------|
| 第2部 | 162,953 | 111,104 |
| 保健衛生施設整備費 | 162,953 | 111,104 |
| 障がい者支援計画及び障がい福祉計画の策定 | 152 | 1,738 |
| 総合福祉システム（福祉五法システム）再構築関連経費 | 158,821 | 107,033 |
| 総合福祉システム（福祉五法システム）改修等経費 | 3,980 | 1,733 |
| ホームレス精神保健相談事業 | - | 600 |
| 計 | 10,641,132 | 9,677,119 |

第2 事業実績

大阪市こころの健康センターでは、精神保健福祉センターの機能に加えて、精神保健および精神障がい者福祉に対する行政機能を総合的、一体的に有している。すなわち精神保健福祉法第6条及び精神保健福祉センター運営要領で定める業務の他に、措置入院の診察・移送などの業務や、精神保健福祉審議会の運営などいわゆる精神保健福祉主管課業務についても実施している。

1 精神保健福祉センター業務

(1) 技術指導及び技術援助

大阪市内には、各区に1か所、合計24か所の保健福祉センターがあり、これらは市民や精神障がい者のさまざまな相談に対応するなど地域精神保健福祉行政の第一線機関である。また精神障がい者の地域生活を支援している各機関も精神保健福祉サービスと関わる重要な機関である。当センターは、これら保健福祉センターや関係機関に対し、専門的立場からさまざまな形で積極的な技術支援および技術援助を行っている。

関係機関への技術援助（講師派遣）

保健福祉センターや関係機関等からの依頼に対し、講師の派遣を行った。

| 年 月 日 | 依 頼 元 | 対 象 者 | 内 容 | 参加者数 |
|----------|-------------|------------|-------------------------|------|
| 25.4.15 | 健康推進部健康施策課 | 新規採用保健師 | 精神保健福祉活動について | 21名 |
| 25.5.16 | 福祉局地域福祉課 | 区保健福祉課新任職員 | 精神保健福祉について | 140名 |
| 25.8.8 | 近畿公安調査局 | 女性職員 | 職場のメンタルヘルス | 45名 |
| 25.11.15 | 子ども青少年局 | 保健師 | 精神疾患を有する妊婦・養育者への支援 | 30名 |
| 26.1.23 | 教育委員会 | 養護教諭 | 精神疾患・精神障がい者の正しい理解を深めるため | 120名 |
| 26.2.6 | 健康推進部健康施策課 | 新規採用保健師 | 事例検討 | 15名 |
| 26.3.3 | 城東区保健福祉センター | 保健師 | 精神疾患を有する妊婦・養育者への支援 | 3名 |

(2) 教育研修

ア 精神保健福祉関係職員研修

各区の保健福祉センター及び大阪市こころの健康センターの精神保健福祉相談員や事務担当職員を対象に精神障がい者の理解を深め、最新の専門的な情報や技術を習得することを目的とした研修を実施し、職員の資質の向上を図るとともに地域精神保健福祉の活動及び向上に繋げる。

(ア) 新任研修

| 年 月 日 | 講 義 内 容 | 講 師 | 参加者数 |
|-----------|---|--|------|
| 25. 4. 15 | 精神保健福祉法と大阪市の精神保健福祉行政について 障がい者支援計画について | こころの健康センター 精神保健医療担当課長 松 本 孝 博 | 20名 |
| | こころの健康センターにおける精神保健福祉業務の実際について(でかけるチーム・電話相談・技術支援など) | こころの健康センター 担当係長 金 森 かずみ | |
| | 保護申請(23条) 警察官通報(24条) 移送制度(34条) 市長同意 保護者選任手続き 救急医療システム | こころの健康センター 担当係長 植 田 高 子 片 山 廣 明 | |
| | 自殺対策について | こころの健康センター 精神保健医療担当課長代理 永 井 照 佳 | |
| | 自殺未遂者相談支援事業 | こころの健康センター 担当係長 金 森 かずみ | |
| | 精神医療審査会 | こころの健康センター 担当係長 山 内 幸 織 | |
| 25. 4. 22 | 自立支援医療・精神障がい者福祉手帳について | こころの健康センター 担当係長 細 山 博 文 | 22名 |
| | 保健福祉センターにおける業務(相談・グループワーク・家族教室等)月報について | こころの健康センター 担当係長 山 田 和 子 | |
| | 精神クリニック・社会復帰相談指導事業等の事務手続きについて | こころの健康センター 担当係長 片 桐 幹 雄 こころの健康センター 係員 山 岡 卓 | |
| 25. 4. 30 | 統合失調症・うつ病を中心に障がいと疾患について 通報における自傷他害性について | こころの健康センター 所長 以 倉 康 充 | 20名 |
| | 心神喪失者医療観察法について 精神障がい者地域移行支援について | こころの健康センター 保健副主幹 松 本 直 美 | |
| | 地域精神保健福祉活動について(就労支援について) | こころの健康センター 保健主幹 根 来 千 穂 | |
| | 思春期相談 ひきこもり相談 自死遺族相談 SST等について | こころの健康センター 臨床心理職員 土 屋 孔 明 | |
| | 薬物相談 | こころの健康センター 担当係長 合 田 恵 子 | |

| | | | |
|--|----------|--|--|
| | 新任研修を終えて | | |
|--|----------|--|--|

(イ) 新任精神保健福祉関係職員フォロー研修

| 年月日 | 講義内容 | 講師 | 参加者数 |
|----------|--|-------------------------|------|
| 25.11.18 | ケアマネジメント実践における アセスメントの意義と方法 ～事例を交えて～ | こころの健康センター 担当係長 山田和子 | 4名 |
| | 事例検討 | こころの健康センター 精神保健福祉相談員 | |
| 25.12.2 | アルコール関連問題のアセスメントと介入の方法について | こころの健康センター 保健主幹 根来千穂 | 4名 |
| | 各区精神保健福祉関連事業の現状と課題及び今後の方策 | こころの健康センター 精神保健福祉相談員 | |

(ウ) 現任研修(全体研修)

精神保健福祉の最近の動向について講義研修を実施した(精神保健福祉関係人材養成研修と合同で実施)。

| 年月日 | 講義内容 | 講師 | 参加者数 |
|----------|------------------------------|-----------------------------------|------|
| 25. 8.19 | 精神障がい者と人権 ～歴史と法律から読み取る現状～ | 仏教大学社会福祉学部社会福祉学科 篠原由利子 | 48名 |
| 25. 9.30 | S S Tの理論と実践 | 關ジャパN E A Pシステムズ 川端洋子 | 54名 |
| 25.10.29 | 精神障がい者の家族支援 ～事例を通して～ | 大阪市立総合医療センター 健康管理室 野村紀美子 | 51名 |
| 25.11.29 | 薬物関連問題の現状と取り組み | 大阪府健康医療部薬務課 統括主査 藤川博之 | 75名 |
| | 薬物依存の現状と支援の在り方 | 大阪タルク施設長、Freedom 代表 倉田めば | |
| 26. 1.22 | 災害時のこころのケア | 兵庫県こころのケアセンター 研究主幹(臨床心理士) 大澤智子 | 41名 |

(工) 現任研修(課題別研修)[対象 精神保健福祉相談員]

A グループワークグループ

研修テーマ: 実践をふまえて、効果的な運営を考える

| 年月日 | 講義内容 | 講師 |
|-----------|----------------|-----------------------------------|
| 25. 7. 29 | グループワークの現状について | |
| 25. 8. 30 | グループワークの基礎 | 大阪市立大学大学院 生活科学研究科生活科学部 教授 岩間伸之 |
| 25.10. 7 | グループワークの実践 | 大阪市立大学大学院 生活科学研究科 教授 岩間伸之 |
| 25.10.31 | グループワークのコツ | |
| 25.11.29 | グループワークのまとめ | |

B 家族教室グループ

研修テーマ: 効果的な家族支援のあり方を学ぶ~家族支援の基本を理解し、効果的な家族教室運営のための技術(技法)を学ぶ~

| 年月日 | 講義内容 | 講師 |
|-----------|----------------------------|-----------------------------------|
| 25. 6. 17 | 家族教室の現状・課題等意見交換し、検討方針を決定する | |
| 25. 8. 29 | 家族支援のあり方 | 京都ノートルダム女子大学 生活福祉文化学部 准教授 佐藤 純 |
| 25.10.29 | 家族へのSST | 株)ジャパンEAPシステムズ(SST認定講師) 川端 洋子 |
| 25.11.22 | 効果的な家族教室のあり方について | (|
| 26. 1. 24 | 効果的な家族教室のあり方のまとめ | |

C 酒害教室グループ

研修テーマ: アルコール関連問題について、関係機関との連携や支援のあり方を考える

| 年月日 | 講義内容 | 講師 |
|----------|---------------------------|----------------------|
| 25. 7. 3 | アルコール関連問題への取組みの変遷と現状 | |
| 25. 9. 4 | アルコール依存症者及び家族への地域での支援について | リカバリハウスいちご 佐古 恵利子 |

| | | |
|----------|--------------------------------|---------------------|
| 25.11.15 | アルコール依存症治療の現状及び内科医と精神科医の連携について | 小谷クリニック 院長 小 谷 陣 |
| 25.12.4 | 酒害教室のあり方 まとめ | |
| 26.1.24 | 酒害教室のあり方 まとめ | |

(オ) 現任研修(ブロック別研修)[対象 精神保健福祉相談員]

A 北・西ブロック

| 年月日 | 講義内容 | 講師 |
|----------|-----------------|--------------------------|
| 25.8.12 | 統合失調症とその関わりについて | つつみクリニック 院長 堤 俊 仁 |
| 25.9.9 | アルコール依存症と治療について | 新阿武山病院 診療部長 佐 谷 誠 司 |
| 25.10.21 | アディクションと発達障がい | 京都少年鑑別所 定 本 ゆきこ |
| 25.11.19 | 人格障がいの事例を通して学ぶ | 佛教大学社会福祉学部 教授 篠 原 由利子 |

B 東・中央ブロック

| 年月日 | 講義内容 | 講師 |
|----------|------------------------|-----------------------------|
| 25.9.17 | ¥統合失調症の事例を通して学ぶ | かつもとメンタルクリニック 院長 勝 元 榮 一 |
| 25.10.21 | アディクションと発達障がい | 京都少年鑑別所 定 本 ゆきこ |
| 25.11.19 | 人格障がいの事例を通して学ぶ | 佛教大学社会福祉学部 教授 篠 原 由利子 |
| 26.1.20 | 依存症からの回復支援について事例を通して学ぶ | リカバリーハウスいちご 管理者 岸 田 真 樹 |

C 南ブロック

| 年月日 | 講義内容 | 講師 |
|----------|------------------|----------------------|
| 25.8.12 | 統合失調症とその関わりについて | つつみクリニック 院長 堤 俊 仁 |
| 25.9.12 | 動機づけ面接技法 | おぐる医院 院長 小 畔 美弥子 |
| 25.10.21 | アディクションと発達障がい | 京都少年鑑別所 定 本 ゆきこ |
| 25.11.12 | 女性のアルコール依存症とその対応 | 新しいみ病院 院長 大 西 英 周 |

(カ) 新任期保健師精神保健福祉研修

保健福祉センターの新任期の保健師を対象に、実践経験を基にさらに精神障がい者の理解を深め、より専門的・具体的な生活支援や個別援助に必要な知識や技術を学ぶことを目的とした研修を実施した。

| 年月日 | 講義内容 | 講師 | 参加者数 |
|----------|----------------------------------|--------------------------------------|------|
| 25.11.21 | オリエンテーション | | 13名 |
| | アセスメントの意義と方法・社会資源の利用、地域生活支援について | こころの健康センター 担当係長 合田 恵子 | |
| | 統合失調症・感情障害の疾患理解と支援について | こころの健康センター 所長 以倉 康充 | |
| | アルコール関連問題の介入と支援について | こころの健康センター 保健主幹 根来 千穂 | |
| | 事例検討(グループワーク) 発表・まとめ | こころの健康センター 金森・山内・合田 | |
| 25.12.10 | 自殺未遂者相談支援について ～事例を通して考える～ | こころの健康センター 担当係長 金森 かずみ | 13名 |
| | 大阪市の精神保健福祉業務について | こころの健康センター 担当係長 植田 高子 | |
| | 精神障がい者の理解と支援～当事者の話から社会復帰への支援を学ぶ～ | こころの健康センター 保健副主幹 松本 直美 ピアサポーター | |
| | 事例検討(グループワーク) 発表・まとめ | こころの健康センター 合田・山田・松本 | |

イ 精神保健福祉関係 人材養成研修

訪問看護・居宅支援事業者、精神保健福祉施設等で精神保健福祉業務に従事する職員の資質および技術の向上を目的に専門的な研修を実施した。

| 年月日 | 講義内容 | 講師 | 参加者数 |
|----------|----------------------------------|------------------------------|------|
| 25.8.19 | 精神障がい者と人権 ～歴史と法律から読み取る 現状～ | 仏教大学社会福祉学部社会福祉学科 篠原 由利子 | 41名 |
| 25.10.29 | 精神障がい者の家族支援 ～事例を通して～ | 大阪市立総合医療センター 健康管理室 野村 紀美子 | 45名 |

ウ 大阪府・市合同 精神保健福祉業務従事者研修

大阪府の企画する研修に、大阪市精神保健福祉関係職員への周知を行い、共同開催を行った。

| 年月日 | 講義内容 | 講師 | 参加者数 |
|---------|-------------------|--|------|
| 25.7.31 | 自殺念慮者と自殺未遂者への対応 | 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 自殺予防総合対策センター 副センター長 松本俊彦 | 23名 |
| 25.11.7 | ギャンブル依存症からの回復に向けて | 大谷大学文学部社会学科 教授 滝口 直子 | 15名 |

(3) 普及啓発

市民に対する精神保健福祉に関する知識や精神障がいについての正しい知識などの普及啓発を行った。

ア こころの健康講座

市民のこころの健康づくりを推進するために、こころの健康をテーマに講演会を実施した。

| 年月日 | 講座内容 | 講師 | 参加者数 |
|----------|-------------------------------|-------------------------------|------|
| 25.6.19 | うつ病ってどんな病気？ ～家族が理解を深めるために～ | 大阪市こころの健康センター 医師 林 皓 章 | 50名 |
| 25.7.12 | あなたのお酒の飲み方をチェックしてみよう | ひがし布施クリニック 院長 辻 本 士 郎 | 19名 |
| 25.9.4 | 統合失調症って どんな病気？ | 大阪市こころの健康センター 医長 蔵 重 幹 子 | 87名 |
| 25.11.11 | 睡眠と健康 眠りについて学ぼう | 大阪回生病院 睡眠医療センター 部長 谷 口 充 孝 | 82名 |
| 26.2.20 | 躁うつ病って どんな病気？ | 大阪市こころの健康センター 医務主幹 田 中 政 宏 | 58名 |

イ こころのボランティア講座

精神障がい者の地域生活を支援する精神保健福祉ボランティアをはじめ、精神保健分野で活動する支援者を対象に、育成支援・精神保健福祉についての普及啓発を目的に講座を開催した。なお、今年度についても「こころの健康講座」と共催した。

ウ 思春期関連問題啓発講座

思春期の子どもを持つ親、市民、教職員などを対象に、思春期のこころの健康についての普及啓発を目的に講座を開催した。

| 年 月 日 | 講座内容 | 講 師 | 参加者数 |
|----------|---------------------------|--------------------------------------|------|
| 26. 1.31 | 摂食障害をどう乗り越えるか - その理解と対応 - | 浪速生野病院 心身医療科 部長 生 野 照 子 | 63名 |
| 26. 2.26 | 私たちに身近なインターネット依存 | 大阪市立大学大学院 医学研究科 神経精神医学 講師 片 上 素 久 | 24名 |

エ 薬物関連問題講座およびイベント

覚せい剤やシンナーなどの薬物使用防止にかかる普及啓発を目的に、高等学校の薬物乱用防止講座に講師を派遣した。

| 年 月 日 | 開 催 校 | 対 象 者 | 参 加 者 数 |
|----------|----------------------|-------|---------|
| 25. 7. 9 | 市立南高等学校 | 生徒・教員 | 166 名 |
| 25. 7.17 | 市立桜宮高等学校 | 生徒・教員 | 858 名 |
| 25.10. 9 | 府立今宮工科高等学校 | 生徒・教員 | 293 名 |
| 25.10.10 | 金蘭会中学校・高等学校 | 生徒・教員 | 265 名 |
| 25.11.28 | 大阪学芸高等学校 | 生徒・教員 | 552 名 |
| 26. 1. 9 | 市立大阪市立高等学校 | 生徒・教員 | 651 名 |
| 26. 1.15 | 大阪偕星学園高等学校 | 生徒・教員 | 321 名 |
| 25. 2.27 | 大阪教育大学附属高等学校 平野校舎 | 生徒・教員 | 128 名 |

合計 3,234 名

一般市民を対象に薬物についての普及啓発を目的に、講座およびイベントを開催した。

| 年 月 日 | 内 容 | 講 師 | 参 加 者 数 |
|----------|---------------------------------------|---------------------------------|---------|
| 25.11.26 | 市民講座 「薬物依存症～依存症を持つ 人を理解し支えること～」 | 大阪市立大学大学院看護学 研究科 教授 寶 田 穂 | 35 名 |

| 年 月 日 | 内 容 | 開 催 場 所 |
|-------------------|----------------------------|---------------------------|
| 25.10.26 | キャラバンカーによる 薬物乱用防止キャンペーン | 西成区民センター (西成区健康展と同時開催) |
| 26.2.17 ~ 2.21 | パネル展示 | 大阪市役所 正面玄関ホール |

教育委員会と連携し、市立の幼・小・中・特別支援学校の管理職や生活指導教員・養護教諭を対象にした薬物関連問題研修会に講師を派遣した。

| 年月日 | テーマ | 対象者 | 参加者数 |
|----------|---------------------------|--|------|
| 25.11.19 | 薬物乱用防止教職員研修会 「薬物乱用の心理」 | 全市幼稚園・小学校・中学校・ 高等学校・特別支援学校の養護 教諭・養護職員・保健主事 | 134名 |

オ 薬物依存症に悩む人たちを支える家族のための教室(3回コース)を開催した。

| 年月日 | テーマ | 講師 | 参加者数 |
|----------|--|--|------|
| 25. 1.30 | 医師の立場から「薬物依存症の臨床」 グループワーク「ワークショップに参加 して」 | 久米田病院 精神科医師 狩山博文 | 11名 |
| 25. 2. 6 | ソーシャルワーカーの立場から 「薬物依存症の回復」 回復者の立場から 「体験談～回復の過程で感じたこと～」 グループワーク「依存症者の回復とは」 | 京都府立大学 福祉社会学科 准教授 山野尚美 フリーダム 森脇高好 | 8名 |
| 25. 2.13 | ソーシャルワーカーの立場から 「薬物問題と家族の取り組み」 家族の立場から「家族にできること」 グループワーク「家族にできること」 | 京都府立大学 福祉社会学科 准教授 山野尚美 回復者のご家族 | 8名 |

(4) 調査研究

地域精神保健福祉活動の推進並びに精神障がい者の社会復帰の促進及び自立と社会経済活動への参加の促進等についての調査研究をするとともに、必要な統計及び資料を収集整備した。また、本市の精神保健福祉行政について学術論文に投稿した。

(5) 技術支援

ア 関係機関への一般相談

各区の保健福祉センターや関係機関における対応困難事例について、精神科医師や精神保健福祉相談員・臨床心理職員などが相談、支援を行っている。

平成25年度関係機関への一般相談状況

| 1. 相談件数 | (件) |
|---------|------|
| 4月 | 151 |
| 5月 | 131 |
| 6月 | 116 |
| 7月 | 106 |
| 8月 | 142 |
| 9月 | 163 |
| 10月 | 153 |
| 11月 | 174 |
| 12月 | 174 |
| 1月 | 143 |
| 2月 | 122 |
| 3月 | 109 |
| 合計 | 1684 |

| 2. 新規・再相談の別 | (件) |
|-------------|------|
| 新規相談 | 1494 |
| 今年度新規相談 | 30 |
| 今年度再相談 | 160 |
| 合計 | 1684 |

| 3. 対象者の性別 | (人) |
|-----------|------|
| 男性 | 1067 |
| 女性 | 610 |
| 不明 | 7 |
| 合計 | 1684 |

| 4. 年齢別 | (人) |
|---------|------|
| 10歳未満 | 2 |
| 10歳～12歳 | 1 |
| 13歳～15歳 | 20 |
| 16歳～18歳 | 35 |
| 19歳～20歳 | 40 |
| 21歳～29歳 | 223 |
| 30歳～39歳 | 330 |
| 40歳～49歳 | 506 |
| 50歳～59歳 | 216 |
| 60歳～69歳 | 187 |
| 70歳～79歳 | 78 |
| 80歳以上 | 9 |
| 不明 | 37 |
| 合計 | 1684 |

| 5. 相談手段 | (件) |
|------------|------|
| 電話相談 | 1537 |
| こころに来所相談 | 6 |
| 保健福祉センター面接 | 2 |
| 訪問相談 | 139 |
| 合計 | 1684 |

| 6. 相談業務従事者 | (人) |
|------------|------|
| 医師 | 0 |
| PSW | 1638 |
| 心理職員 | 36 |
| 事務職員 | 0 |
| その他 | 10 |
| 医師・心理職 | 0 |
| 医師・心理職・PSW | 0 |
| 医師・PSW | 0 |
| 心理職・PSW | 0 |
| 合計 | 1684 |

| 7. 相談内容 | (件) |
|---------|------|
| 治療に関して | 22 |
| 医療機関紹介 | 6 |
| 情報に関して | 32 |
| でかける相談 | 4 |
| 医療・手帳関係 | 0 |
| 通報関係 | 77 |
| 制度の問題 | 1280 |
| 近隣トラブル | 1 |
| 本人への対応 | 236 |
| その他 | 26 |
| 合計 | 1684 |

| 8. 相談経路 | (件) |
|----------|------|
| 保健福祉センター | 233 |
| 支援課(生保) | 5 |
| 医療機関 | 2 |
| 社会復帰施設 | 17 |
| 教育機関 | 3 |
| 社会福祉施設 | 1 |
| 老人保健施設 | 0 |
| 児童福祉施設 | 0 |
| 関係団体 | 1387 |
| その他 | 36 |
| 合計 | 1684 |

| 9. 相談種別 | (件) |
|----------|------|
| 老人保健 | 9 |
| 社会復帰 | 161 |
| アルコール | 10 |
| 病気に関する問題 | 1337 |
| 心の健康づくり | 12 |
| 薬物関連問題 | 17 |
| 思春期問題 | 15 |
| うつ・うつ状態 | 2 |
| DVに関して | 0 |
| ギャンブル | 0 |
| ひきこもり | 20 |
| 自殺関連 | 13 |
| 犯罪被害 | 0 |
| 災害 | 0 |
| 発達障害 | 12 |
| その他 | 76 |
| 合計 | 1684 |

| 10. 援助の方法 | (件) |
|---------------|------|
| 所内カンファレンス | 2 |
| 地域・外部とカンファレンス | 139 |
| 地域支援会議等参加 | 0 |
| 相談員等に個別支援 | 89 |
| GW・教室等支援 | 0 |
| 関係機関紹介 | 13 |
| 情報提供 | 18 |
| 助言 | 1388 |
| その他 | 35 |
| 合計 | 1684 |

イ でかけるチーム精神保健相談

地域における精神保健福祉相談での複雑困難事例に対応するため、各区の保健福祉センターからの要請に基づき、こころの健康センターの専門職員によるチームを編成し、各区にでかけて事例検討、訪問及び面接等の専門的な技術援助・支援を行い、もって地域の精神保健福祉活動の向上を図っている。

平成25年度でかけるチーム精神保健相談

| | 電話相談 | 面接相談 | 家庭訪問 | ケース会議 | 合 計 |
|-----|------|------|------|-------|-----|
| 男 性 | 11 | 9 | 3 | 8 | 31 |
| 女 性 | 10 | 12 | 2 | 8 | 32 |
| 合 計 | 21 | 21 | 5 | 16 | 63 |

ウ 個別支援

市民の個別相談については、原則、各区保健福祉センターで対応しているが、直接、個別にこころの健康センターに相談があった事例については、以下のように対応し、必要に応じて各区の保健福祉センターに引き継ぎ継続支援を行っている。

平成25年度個別支援状況

1. 相談件数 (件)

| | |
|-----|-----|
| 4月 | 83 |
| 5月 | 69 |
| 6月 | 71 |
| 7月 | 61 |
| 8月 | 64 |
| 9月 | 84 |
| 10月 | 71 |
| 11月 | 88 |
| 12月 | 76 |
| 1月 | 69 |
| 2月 | 73 |
| 3月 | 72 |
| 合計 | 881 |

2. 新規・再相談の別 (件)

| | |
|---------|-----|
| 新規相談 | 836 |
| 今年度新規相談 | 11 |
| 今年度再相談 | 34 |
| 合計 | 881 |

3. 対象者の性別 (人)

| | |
|----|-----|
| 男性 | 529 |
| 女性 | 349 |
| 不明 | 3 |
| 合計 | 881 |

4. 年齢別 (人)

| | |
|---------|-----|
| 10歳未満 | 0 |
| 10歳～12歳 | 3 |
| 13歳～15歳 | 7 |
| 16歳～18歳 | 20 |
| 19歳～20歳 | 15 |
| 21歳～29歳 | 89 |
| 30歳～39歳 | 155 |
| 40歳～49歳 | 207 |
| 50歳～59歳 | 88 |
| 60歳～69歳 | 61 |
| 70歳～79歳 | 35 |
| 80歳以上 | 0 |
| 不明 | 201 |
| 合計 | 881 |

5. 相談手段 (件)

| | |
|----------|-----|
| 電話相談 | 868 |
| こころに來所相談 | 12 |
| 訪問相談 | 1 |
| 合計 | 881 |

6. 相談業務従事者 (人)

| | |
|-----------|-----|
| 医師 | 0 |
| 相談員 | 815 |
| 心理職員 | 62 |
| 事務職員 | 0 |
| 医師・相談員 | 4 |
| 医師・心理・ | 0 |
| 医師・心理・相談員 | 0 |
| その他 | 0 |
| 合計 | 881 |

7. 相談内容 (件)

| | |
|--------|-----|
| 治療に関して | 38 |
| 医療機関紹介 | 77 |
| 情報に関して | 78 |
| 制度の問題 | 513 |
| 本人への対応 | 79 |
| その他 | 96 |
| 合計 | 881 |

8. 相談経路 (件)

| | |
|----------|-----|
| 保健福祉センター | 17 |
| 支援課(生保) | 1 |
| 医療機関 | 81 |
| 社会復帰施設 | 1 |
| 教育機関 | 0 |
| 社会福祉施設 | 1 |
| 老人保健施設 | 0 |
| 児童福祉施設 | 0 |
| 関係団体 | 524 |
| その他 | 256 |
| 合計 | 881 |

9. 相談種別 (件)

| | |
|----------|-----|
| 老人保健 | 6 |
| 社会復帰 | 6 |
| アルコール | 13 |
| 病気に関する問題 | 644 |
| 心の健康づくり | 58 |
| 薬物関連問題 | 46 |
| 思春期問題 | 17 |
| うつ・うつ状態 | 27 |
| DVに関して | 0 |
| ギャンブル | 3 |
| その他 | 61 |
| 合計 | 881 |

10. 援助の方法 (件)

| | |
|-------------|-----|
| 助言 | 645 |
| 関係機関紹介 | 120 |
| 保健センターのフォロー | 18 |
| その他 | 98 |
| 合計 | 881 |

11. 相談区 (件)

| | |
|--------|-----|
| 北 | 30 |
| 都島 | 32 |
| 福島 | 16 |
| 此花 | 7 |
| 中央 | 38 |
| 西 | 9 |
| 港 | 13 |
| 大正 | 23 |
| 天王寺 | 19 |
| 浪速 | 15 |
| 西淀川 | 12 |
| 淀川 | 12 |
| 東淀川 | 28 |
| 東成 | 16 |
| 生野 | 11 |
| 旭 | 32 |
| 城東 | 31 |
| 鶴見 | 7 |
| 阿倍野 | 21 |
| 住之江 | 17 |
| 住吉 | 23 |
| 東住吉 | 19 |
| 平野 | 44 |
| 西成 | 109 |
| 不明 | 228 |
| 市外 | 57 |
| 市内だが不明 | 12 |
| 合計 | 881 |

(6) 精神保健福祉相談

ア 思春期問題相談

思春期は心身の変化が著しく、対人関係の悩みやストレスによる身体の症状などの問題が生じやすい。最近ではひきこもりや摂食障がいなどが増加している。これらに対応するため、平成12年10月から、専門の精神科医師、臨床心理職員等による個別相談を予約制で、大阪市こころの健康センターにおいて実施している。

平成25年度 思春期問題相談実施状況

相談件数 (件)

| | |
|-----|-----|
| | 合 計 |
| 実件数 | 34 |
| 延件数 | 36 |

対象者の内訳 (実件数)

(人)

| 年齢 | ~12 | 13~15 | 16~18 | 19~20 | 21~ | 合 計 |
|-----|-----|-------|-------|-------|-----|-----|
| 男 性 | 0 | 9 | 5 | 0 | 0 | 14 |
| 女 性 | 4 | 7 | 6 | 3 | 0 | 20 |
| 合 計 | 4 | 16 | 11 | 3 | 0 | 34 |

相談内容 (実件数)

(人)

| 年齢 | ~12 | 13~15 | 16~18 | 19~20 | 21~ | 合 計 |
|--------|-----|-------|-------|-------|-----|-----|
| 不 登 校 | 0 | 11 | 1 | 0 | 0 | 12 |
| ひきこもり | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 摂食障がい | 0 | 1 | 1 | 2 | 0 | 4 |
| 精神疾患疑い | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| 情緒不安定 | 1 | 2 | 1 | 0 | 0 | 4 |
| 発達障がい | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 | 3 |
| そ の 他 | 2 | 0 | 7 | 1 | 0 | 10 |
| 合 計 | 4 | 16 | 11 | 3 | 0 | 34 |

その他、思春期の問題に関して、各区保健福祉センターへの技術援助を行っている。

イ 薬物関連問題相談

覚せい剤等薬物の乱用、とりわけ低年齢層の薬物乱用や、危険ドラッグの乱用者が犯罪や重大な交通事故を引き起こす事案が後を絶たず、社会問題となっている。一方、薬物関連問題についての専門相談機関は極めて少ない状況にある。このような状況の中、大阪市こころの健康センターでは、平成 12 年 10 月から専門の精神科医師による薬物関連問題相談(予約制)を実施している。

【平成 25 年度 薬物関連問題相談実施状況】

相談件数 (人)

| | 男性 | 女性 | 合計 |
|-----|----|----|----|
| 実件数 | 20 | 8 | 28 |
| 延件数 | 26 | 9 | 35 |

対象者の内訳 (人)

| | 10代 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代以上 | 合計 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|----|
| 男性 | 0 | 6 | 9 | 3 | 1 | 0 | 19 |
| 女性 | 0 | 4 | 3 | 2 | 0 | 0 | 9 |
| 合計 | 0 | 10 | 12 | 5 | 1 | 0 | 28 |

相談者別 (重複あり) (人)

| | |
|-----|----|
| 本人 | 20 |
| 家族 | 4 |
| 両親 | 29 |
| その他 | 27 |

薬物の種類 (重複あり) (人)

| | |
|------------|----|
| 覚せい剤 | 15 |
| 大麻 | 5 |
| 有機溶剤 | 2 |
| 違法ドラッグ等その他 | 19 |

主な相談内容

| | |
|-----------------|----------------------|
| ・ 家族の対応の仕方について | ・ 薬物依存症はどんな病気か |
| ・ 本人への治療指導希望 | ・ 治療につなげるにはどうしたらいいか |
| ・ 退院後の処遇について | ・ 断薬継続のための生活上の注意について |
| ・ 入院希望 | ・ 家族調整 |
| ・ 地域支援に向けての処遇検討 | |
| ・ 他精神疾患の治療勧奨 | |

ウ こころの悩み電話相談

社会が複雑になるにつれて、市民のメンタルヘルスを維持するために、気軽に利用できる相談窓口が必要とされている。このようなニーズに応じるために、平成12年4月から、こころの健康に関することなど、市民のこころの悩みに、精神科医師、臨床心理職員、精神保健福祉相談員などの専門職員が電話で相談に応じている。

開設時間：平日の午前10時～午後3時

平成25年度電話相談状況

| 1. 相談者 (人) | |
|------------|-------|
| 本人自身 | 1,336 |
| 親 | 153 |
| 配偶者 | 45 |
| 子供 | 48 |
| 兄弟 | 40 |
| 友人 | 13 |
| その他 | 53 |
| 不明 | 0 |
| 合計 | 1,688 |

| 2. 相談者の性別 (人) | |
|---------------|-------|
| 男性 | 558 |
| 女性 | 1,129 |
| 不明 | 1 |
| 合計 | 1,688 |

| 3. 対象者の性別 (人) | |
|---------------|-------|
| 男性 | 668 |
| 女性 | 1,015 |
| 不明 | 5 |
| 合計 | 1,688 |

| 4. 対象者の年齢区 (人) | |
|----------------|-------|
| 10歳未満 | 4 |
| 10歳～14歳 | 16 |
| 15歳～19歳 | 44 |
| 20歳～29歳 | 134 |
| 30歳～39歳 | 202 |
| 40歳～49歳 | 360 |
| 50歳～59歳 | 199 |
| 60歳～69歳 | 83 |
| 70歳以上 | 73 |
| 不明 | 573 |
| 合計 | 1,688 |

| 5. 対象者居住地 (件) | |
|---------------|-------|
| 北 | 21 |
| 都島 | 31 |
| 福島 | 18 |
| 此花 | 5 |
| 中央 | 21 |
| 西 | 13 |
| 港 | 27 |
| 大正 | 10 |
| 天王寺 | 13 |
| 浪速 | 2 |
| 西淀川 | 13 |
| 淀川 | 24 |
| 東淀川 | 40 |
| 東成 | 16 |
| 生野 | 20 |
| 旭 | 13 |
| 城東 | 29 |
| 鶴見 | 16 |
| 阿倍野 | 17 |
| 住之江 | 22 |
| 住吉 | 51 |
| 東住吉 | 23 |
| 平野 | 35 |
| 西成 | 17 |
| 市内だが不明 | 476 |
| 府下 | 88 |
| その他 | 41 |
| 不明 | 586 |
| 合計 | 1,688 |

| 6. 相談内容(重複あり) (件) | |
|-------------------|-------|
| 育児上の問題 | 6 |
| 家庭内の問題 | 236 |
| 学校についての問題 | 19 |
| 職場・仕事等の問題 | 72 |
| 近隣との関係 | 21 |
| 性の悩み相談 | 13 |
| 異性との関係 | 38 |
| 性格についての悩み | 12 |
| 食欲の異常 | 10 |
| 症状について | 581 |
| 医療機関について | 161 |
| 病気の知識について知りたい | 46 |
| 精神障害者への関わり方について | 11 |
| 社会復帰に関して | 45 |
| 社会資源に関して | 41 |
| 話がしたい・話相手がほしい | 177 |
| 人生相談 | 56 |
| その他 | 189 |
| 合計 | 1,734 |

| 7. 援助方法 (件) | |
|-------------|-------|
| 助言 | 720 |
| 他機関紹介 | 228 |
| 傾聴 | 703 |
| その他 | 37 |
| 合計 | 1,688 |

(7) 自殺防止対策事業

全国の自殺者数は平成10年に急増し3万人を超えて以来、連続して3万人を超える状態が続いていた。平成24年は15年ぶりに3万人を下回り、平成25年も2年連続で3万人を下回ったが、依然として多い状況には変わらない。国は自殺対策基本法に基づく自殺対策の指針である「自殺総合対策大綱」を決定し、その中で地方公共団体をはじめ、医療機関、民間の団

体等との密接な連携を図りつつ総合的に自殺対策を推進していくこととしている。

また、平成 21 年 4 月に発表された「経済危機対策」の具体的施策の中で、都道府県に当面 3 年間の対策に係る「地域自殺対策緊急強化基金」を造成（その後の補正予算で基金を積み増し、平成 26 年度まで延長。）し、地域における自殺対策力を強化してきた。

大阪市の平成 25 年の自殺死亡率（人口 10 万人あたりの自殺死亡者数。人口動態統計。）は 24.9 と政令指定都市の中では最も高い値になっており、これらの状況を受け自殺防止対策として次の事業を行っている。

ア 自死遺族相談

平成 19 年 11 月から「自死遺族相談」を開設し、自死遺族に対して臨床心理士・精神保健福祉相談員による面接相談を実施している。

相談実施日 第 1・第 3 金曜日、第 2・第 4 木曜日（予約制）

平成 25 年度実施状況（平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月）

実人数 11 名 延相談数 48 件

イ 自殺未遂者相談支援事業

自殺には多様かつ複雑な原因・背景があり、自殺未遂者を支えるためには心身の健康から社会的支援まで総合的・複合的な取り組みが必要なことから、平成 21 年 11 月から自殺未遂者への相談支援を開始した。

本事業は、警察署で自殺未遂者として取り扱った方の相談に応じ、精神科医療の必要な方は医療に繋ぎ、また心理的に追い込まれ、視野狭窄に陥るなど一時的に理解・判断ができなくなっている方に対して傾聴相談を行い適切な関係機関に繋ぎ、更なる自殺行為を防ぐことを目的とする。

開始時は市内 4 区（東淀川・港・城東・住吉）で試行実施し、平成 22 年 7 月から 12 区（前述に加え淀川・生野・鶴見・阿倍野・住之江・東住吉・平野・西成）に拡充し、平成 23 年 1 月から市内全域を対象に実施している。また、平成 25 年 1 月からは、大阪府全域で実施している。

平成 25 年度実施状況

受理延件数 381 件

ウ ゲートキーパーの養成

自殺防止のために一番大切な気づきが行える地域の中心的な役割を果たすべき人材（ゲートキーパー）の育成として、かかりつけ医や区保健福祉センター保健師、民生委員・児童委員に研修を実施している。

1. ゲートキーパー養成研修

| 年 月 日 | 内 容・講 師 | 対 象 者 | 参加者数 |
|----------|----------------------------------|-----------------|------|
| 25.11.14 | 大学生のためのゲートキーパー研修 ～私達にできること～ | 大阪経済大学学生 | 39名 |
| 25.11.15 | 大学生のためのゲートキーパー研修 ～私達にできること～ | 大阪市立大学学生 | 42名 |
| 25.11.17 | ゲートキーパー研修 「ココロカフェ」 ～私達にできること～ | 大学生・専門学校学生等の若年層 | 93名 |
| 25.12.5 | 大学生のためのゲートキーパー研修 ～私達にできること～ | 大阪府立大学学生 | 39名 |
| 26.1.6 | 大学生のためのゲートキーパー研修 ～私達にできること～ | 四天王寺大学学生 | 35名 |
| 26.1.29 | 自殺防止について、悩んでる子供への対応 | 保健主事 | 70名 |
| 26.2.8 | 大学生のためのゲートキーパー研修 ～私達にできること～ | 桃山学院大学学生 | 5名 |

2. ゲートキーパー専門研修（基礎編）

| 年 月 日 | 内 容・講 師 | 対 象 者 | 参加者数 |
|---------|-----------------------------------|----------------------|------|
| 25.7.3 | 精神科疾患と自殺 渡辺クリニック 院長 渡辺 洋一郎 | 保健師 精神保健福祉 相談員 | 25名 |
| 25.7.30 | 自殺念慮者の傾聴の技術 関西福祉科学大学 准教授 都村 尚子 | 相談員 | 28名 |
| 25.11.6 | 精神科疾患と自殺 渡辺クリニック 院長 渡辺 洋一郎 | 生活保護ケー スワーカー | 69名 |
| 25.12.3 | 自殺念慮者の傾聴の技術 関西福祉科学大学 准教授 都村 尚子 | 地域包括支援 センター職員 | 66名 |

3. ゲートキーパー専門研修（危機介入編）

| 年 月 日 | 内 容・講 師 | 対 象 者 | 参加者数 |
|---------|---|----------------------|------|
| 25.8.27 | 自殺危機初期介入スキル研修 自殺危機初期介入スキル研究会 こころの健康センター 根来 千穂 金森 かずみ | 保健師 精神保健福祉 相談員 | 12名 |
| 25.9.25 | 自殺危機初期介入スキル研修 自殺危機初期介入スキル研究会 こころの健康センター 根来 千穂 植田 高子 | 保健師 精神保健福祉 相談員 | 18名 |

エ アルコール関連問題に係る支援者育成事業

アルコール依存症は、自殺のハイリスク群とされているが、まだまだ社会的な偏見が強く問題の発見を遅らせている現実がある。またアルコール関連問題への適切な対応についての理解が、アルコール依存症患者に関わる支援者に不十分であることから、しばしば重症化し、結果として自殺に至ることも少なくない。そのため、自殺防止の支援の視点に立ち本事業を実施した。

1) 対象者

医療機関・地域包括支援センター・訪問看護ステーション・断酒会・A A・アルコール関連作業所等及びアルコール関連問題にかかる支援者、当事者や家族

2) 日時・内容・参加数

| 年 月 日 | 内 容 | 参加者数 |
|----------|-------------------------------------|------|
| 25.6.28 | ・グループディスカッション ・高齢者アルコール依存症への関わり方 | 65 名 |
| 25.8.30 | ・女性のアルコール依存症について ・事例検討 | 54 名 |
| 25.10.25 | ・自助グループ紹介（断酒会・すみれ会） ・事例検討 | 39 名 |
| 25.12.13 | ・C R A F T ~ 依存症者の家族支援 ~ ・事例検討 | 40 名 |

オ 自殺予防週間の取り組み

9月10日～16日の「自殺予防週間」にあわせて大阪府・堺市等とともに「自殺予防街頭キャンペーン」及び「集中電話相談」を行った。

1. 自殺予防街頭キャンペーン

- 1) 日 時：平成25年9月10日（火）午前8時～9時
- 2) 場 所：京橋駅前、他府内市町村主要駅前等
- 3) 内 容：自殺予防カード入りポケットティッシュ等の配布
- 4) 主 催：大阪市、堺市、府内市町村、大阪府自殺対策連絡協議会

2. 集中電話相談

- 1) 期 間：平成25年9月10日（火）～平成25年9月23日（日）（24時間受付）
（9月10日（火）は午前9時から開始、9月23日（日）は午後9時で終了）
- 2) 内 容：自殺に関する相談やこころの健康に関する相談をおこなう24時間の集中電話を設置
- 3) 主 催：大阪府、大阪市、堺市

カ 自殺対策強化月間の取り組み

「自殺対策強化月間」（3月）にあわせて大阪府・堺市等とともに「自殺予防街頭キャンペーン」及び「集中電話相談」を行った。

1. 自殺予防街頭キャンペーン

- 1) 日 時：平成 26 年 3 月 3 日（月）午前 8 時～ 9 時
- 2) 場 所：京橋駅前、他府内市町村主要駅前等
- 3) 内 容：自殺予防カード入りポケットティッシュ等の配布
- 4) 主 催：大阪市、堺市、府内市町村、大阪府自殺対策連絡協議会

2. 集中電話相談

- 1) 期 間：平成 26 年 3 月 1 日（土）～平成 26 年 3 月 31 日（月）（24 時間受付）
（3 月 1 日（土）は午前 9 時から開始、3 月 31 日（月）は午後 9 時で終了）
- 2) 内 容：自殺に関する相談やこころの健康に関する相談をおこなう 24 時間の集中電話
を設置
- 3) 主 催：大阪府、大阪市、堺市

キ うつ病予防の普及啓発

大阪市こころの健康センター監修のもと、「うつ病の早期発見・早期治療」の啓発用ビデオや各種パンフレットを作成し、「こころの健康問題」に対する意識の高揚を図っている。

ク うつ病の家族教室（フォローアップ編）

区ブロック開催の「うつ病の家族教室」修了者を主な対象者とし、家族が正しい知識を学び、病気を理解し、本人への接し方を考えるためのうつ病の家族教室（全 4 回）を開催した。また、うつ病家族の自助グループの育成を目指し、継続して交流会を行っている。

教室プログラム

| | 内 容 |
|-------|---------------------------------------|
| 第 1 回 | ・（ミニ講座）疾患について ・グループワーク |
| 第 2 回 | ・（ミニ講座）治療について ・グループワーク |
| 第 3 回 | ・（ミニ講座）社会資源について ・グループワーク |
| 第 4 回 | ・（ミニ講座）家族間でのコミュニケーションについて ・グループワーク |

実施状況（平成25年12月5日～平成26年1月30日）

実人数 6名 延参加者数 18名

交流会（平成25年 4 月～平成26年 3 月）

実人数 15名 延参加者数 83名

ケ 大阪市自殺対策検討連絡会議

平成21年3月から大阪市精神保健福祉審議会・自殺防止対策部会と大阪市関係各担当が連携して自殺対策を推進し、施策等について協議・検討するため、大阪市自殺対策検討連絡会議を開催している。

第10回（平成25年5月21日 大阪市こころの健康センター大会議室）

- ・メンタルヘルス研修実施状況報告について
- ・DVD上映「うつの早期発見と自殺予防」
- ・その他

第11回（平成26年2月18日 大阪市こころの健康センター大会議室）

- ・平成24年中における大阪市の自殺の状況
- ・平成24年と平成23年中における大阪市の自殺の状況比較
- ・各所属の自殺防止対策の取り組みについて
- ・アルコール依存症とこころの健康について
- ・その他

（8）ひきこもり相談窓口事業

「ひきこもり」は80万人とも100万人ともいわれ、大きな社会問題となっている。その原因は、統合失調症、うつ病、社交不安、発達障がい、心理的な問題など多彩であり、支援するためには原因や背景を見極める必要がある。「ひきこもり」状態の早期発見・早期対応のため、平成21年4月よりひきこもり相談窓口を設置し、ひきこもり当事者や家族を適切な支援機関につなぐなどの支援を行い、当事者の自立を促進するとともに、正しい知識の普及啓発を実施している。

また、対象者の相談内容等に応じた適切な支援を行うことができるよう、関係局会議や事例検討会を開催している。

ひきこもり電話相談 開設時間：平日の午前10時～正午
電話相談後、必要に応じ面接・訪問を行っている。

ア 平成25年度ひきこもり電話相談件数

1. 電話相談内訳

| | 件数 | うち新規 |
|----------|-----|------|
| 電話相談 | 268 | 147 |
| うち面接相談予約 | 26 | 21 |
| うち訪問相談予約 | 1 | 1 |

3. 当事者の性別

| 性別 | 件数 |
|----|-----|
| 男性 | 182 |
| 女性 | 86 |
| 不明 | 0 |
| 合計 | 268 |

2. 相談者の続柄内訳

| 続柄 | 件数 |
|-------|-----|
| 当事者本人 | 120 |
| 親 | 100 |
| 配偶者 | 1 |
| 子供 | 1 |
| 兄弟姉妹 | 16 |
| その他 | 30 |
| 合計 | 268 |

4. 当事者の年齢

| 年齢 | 件数 |
|------|-----|
| 10歳代 | 17 |
| 20歳代 | 87 |
| 30歳代 | 36 |
| 40歳代 | 75 |
| 50歳代 | 25 |
| 不明 | 28 |
| 合計 | 268 |

5. 相談種別

| 相談内容 | 件数 |
|----------|-----|
| 不登校 | 10 |
| ひきこもり | 170 |
| 精神疾患(疑) | 51 |
| 発達障がい(疑) | 14 |
| ニート | 6 |
| その他 | 17 |
| 合計 | 268 |

6. 支援内容

| 処置 | 件数 |
|-------|-----|
| 助言 | 83 |
| 他機関紹介 | 71 |
| 傾聴 | 78 |
| 面接予約 | 26 |
| その他 | 10 |
| 合計 | 268 |

イ 講座・研修関係
市民への講座

| 年月日 | 内容・講師 | 参加者数 |
|----------|--|------|
| 25.10.1 | 「精神科からみたひきこもり」 講師 心の健康センター 医師 街 久 | 59名 |
| 25.10.15 | ひきこもる若者たちにどのように 再チャレンジの道をつけていくのか 講師 武庫川女子大学名誉教授・兵庫県立神出学園長 小林 剛 NPO法人グローバル・シップスこうべ 代表 森下 徹 | 51名 |

支援者への研修

| 年月日 | 内容・講師 | 参加者数 |
|---------|---|------|
| 25.7.17 | 精神科からみた「ひきこもり」～総論を中心に～ 大阪市立大学医学部附属病院 医師 宮脇 大 ひきこもり相談について ひきこもり相談窓口事業について 大阪市心の健康センター 臨床心理職員 土屋 孔明 | 24名 |
| 25.7.31 | 精神科からみた「ひきこもり」～発達障がいを中心に～ 大阪市立大学医学部附属病院 医師 宮脇 大 | 32名 |

(9) 認知症疾患医療センター

大阪市では、地域における認知症疾患の保健医療水準の向上を図るため、平成21年4月から、3か所の病院に対し認知症疾患医療センターの指定を行い、同センターにおいて、保健医療・介護機関等と連携を図りながら、認知症疾患に関する鑑別診断、周辺症状と身体合併症に対する急性期治療、専門医療相談を実施するとともに、地域保健医療・介護関係者への研修等を行っている。

認知症疾患医療センター専門相談窓口電話番号

- ・医療法人北斗会 ほくとクリニック病院 06-6554-9707
- ・公立大学法人 大阪市立大学医学部附属病院 06-6645-2896
- ・大阪市立弘済院附属病院 06-6871-8073

(指定期間 平成24年4月1日～平成27年3月31日)

平成25年度実績

- ・認知症疾患に係る外来件数及び鑑別診断件数
外来件数 13,422件 うち鑑別診断件数 1,997件
- ・認知症疾患に係る入院件数
センター運営病院 525件 連携先の病院 19件 合計 544件

・専門医療相談件数

電話 2,053 件 面接 714 件 合計 2,767 件

(10) 組織の育成

地域精神保健福祉の向上を図るため、保健福祉センターにおいて、各区の自助組織・家族会・ボランティア等の育成に努めているが、これに協力するとともに、広域的な組織の育成に努めている。

(11) 精神医療審査会

平成8年4月からの精神保健福祉法の大都市特例の施行に伴い、同法第12条に基づき、大阪市精神医療審査会を設置し、平成12年4月の大阪市こころの健康センター設立により、その事務局を同センターに置いた。精神医療審査会は10名の委員で構成され2つの合議体に区分し、定期病状報告書等の審査及び退院・処遇改善請求等の審査を行い、精神科病院入院患者の適正な医療及び保護の確保に努めている。

ア 開催状況

| | |
|-----------|-------------|
| 全体会議 | 平成26年3月24日 |
| 合議体 審査 | 平成25年4月18日 |
| | 平成25年5月17日 |
| | 平成25年6月20日 |
| | 平成25年7月19日 |
| | 平成25年8月22日 |
| | 平成25年9月20日 |
| | 平成25年10月17日 |
| | 平成25年11月15日 |
| | 平成25年12月19日 |
| | 平成26年1月17日 |
| | 平成26年2月20日 |
| | 平成26年3月14日 |

イ 入院届・定期病状報告の審査状況

(件)

| | | 医療保護入院者の 入院届 | 医療保護入院者の 定期病状報告 | 措置入院者の 定期病状報告 | 合計 |
|--------|-----------|-----------------|--------------------|------------------|-----|
| 審 | 査 件 数 | 672 | 0 | 39 | 711 |
| 結 果 | 現入院形態が適当 | 672 | 0 | 39 | 711 |
| | 他の入院形態へ移行 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 入院の必要なし | 0 | 0 | 0 | 0 |

ウ 退院・処遇改善請求の審査状況 (件)

| 請求件数 | | 結 果 | |
|-------------|-----|---------------|---|
| 退 院 請 求 | 1 6 | 現入院形態が適当 | 2 |
| | | 他の入院形態へ移行 | 5 |
| | | 取 り 下 げ 等 | 9 |
| 処 遇 改 善 請 求 | 5 | 現 処 遇 が 適 当 | 1 |
| | | 現 処 遇 が 不 適 当 | 0 |
| | | 取 り 下 げ 等 | 4 |

エ 実地審査状況

入院後概ね3か月を経過した措置入院患者及び実地審査の必要があると認めた医療保護入院患者等を対象に、病状及び措置に関する実地審査を実施し、精神障がい者の人権尊重を基本とした適正な医療の確保に努めている。

(件)

| | 審査件数 | 結 果 | | 対象となった 病院数 |
|-------------|------|----------|-----------|---------------|
| | | 現入院形態が適当 | 他の入院形態へ移行 | |
| 措 置 入 院 | 1 2 | 1 2 | 0 | 6 |
| 医 療 保 護 入 院 | 5 | 5 | 0 | 4 |
| 任 意 入 院 | 7 | 7 | 0 | 5 |
| 合 計 | 2 4 | 2 4 | 0 | 1 2 |

2 精神保健福祉主管課業務

平成12年4月の大阪市こころの健康センター開設時より、精神保健福祉主管課の業務の一部を実施している。

(1) 精神保健福祉審議会の運営(委員数 15名)

精神保健福祉法第9条第1項及び大阪市精神保健福祉審議会条例に基づき、本市の精神保健福祉施策全般について審議する大阪市精神保健福祉審議会の運営事務を行っている。

第19回 大阪市精神保健福祉審議会

開催日：平成26年3月26日

議 題： 「大阪府精神科救急医療運営審議会」の開催状況について
「大阪市精神保健福祉審議会自殺防止対策部会」の開催状況について
平成26年度精神保健福祉関係予算の概要について
次期大阪市障がい者支援計画・大阪市障がい福祉計画の策定について

ア 自殺防止対策部会(委員数 10名)

平成20年7月1日に自殺防止対策部会設置要綱を制定し、自殺対策基本法の理念に基づき、市民が「生きやすい社会」の実現を目指し、総合的・効果的な自殺防止対策について審議を行っている。

第13回 大阪市精神保健福祉審議会・自殺防止対策部会

実施日：平成25年10月8日

議 題： 平成24年中における大阪市の自殺の状況及び
平成24年と平成23年中における大阪市の自殺の状況比較
平成26年度の自殺対策の取り組みについて(案)

第14回 大阪市精神保健福祉審議会・自殺防止対策部会

実施日：平成26年3月19日

議 題： 平成25年度の自殺対策の実施状況について
平成26年度の自殺対策の取り組みについて

(2) 措置・緊急措置診察(入院)事業

ア 措置診察

精神保健福祉法第27条にもとづく精神保健指定医による措置診察には大阪市こころの健康センター職員が立ち会って実施している。また、精神保健福祉法第23条による申請及び第24条による通報に基づいて行なわれる措置診察については当該保健福祉センター職員も立ち会っている。

措置入院患者の移送については、本市職員が同乗して本市救急車で移送を行っている。

| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 合計 |
|-------------------|----|----|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 措置診察件数 (含む本鑑定) | 13 | 10 | 9 | 10 | 11 | 14 | 11 | 18 | 18 | 15 | 11 | 10 | 150 |
| 23条申請 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 24条通報 | 12 | 9 | 6 | 8 | 11 | 12 | 9 | 15 | 15 | 11 | 8 | 8 | 124 |
| 25条通報 | 0 | 1 | 3 | 2 | 0 | 2 | 1 | 3 | 3 | 4 | 3 | 2 | 24 |
| 26条等通報 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| 措置入院件数(該当) | 13 | 9 | 8 | 9 | 10 | 14 | 9 | 16 | 17 | 13 | 8 | 9 | 135 |
| 非該当件数 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 2 | 2 | 1 | 2 | 3 | 1 | 15 |
| 要入院 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 2 | 2 | 1 | 2 | 2 | 1 | 11 |
| 要通院 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 3 |
| 医療不要等 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |

イ 緊急措置診察

夜間・休日の対応については、緊急措置診察受付窓口を大阪府・堺市と共同で設置し、平日夜間は午後5時から翌日午前9時、休日は24時間、警察からの通報を受け付け、待機職員が緊急措置診察業務を行っている。

(件)

| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 合計 |
|----------------|----|---|---|---|---|----|----|----|----|---|---|---|-----|
| 緊急措置診察件数 | 10 | 9 | 7 | 4 | 8 | 12 | 10 | 11 | 10 | 9 | 8 | 6 | 104 |
| 緊急措置入院件数(該当) | 6 | 8 | 6 | 4 | 8 | 10 | 10 | 9 | 10 | 8 | 6 | 5 | 90 |
| 非該当件数 | 4 | 1 | 1 | 0 | 0 | 2 | 0 | 2 | 0 | 1 | 2 | 1 | 14 |
| 要入院 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 2 | 1 | 5 |
| 要通院 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 |
| 医療不要等 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 4 |
| 緊急措置入院後の措置診察件数 | 6 | 8 | 5 | 4 | 8 | 9 | 8 | 8 | 10 | 8 | 6 | 3 | 83 |

(3) 医療保護入院等の移送事業

精神保健福祉法第34条に基づく「医療保護入院等のための移送事業」については平成12年7月から開始した。移送のための診察にあたっては各区の保健福祉センターと大阪市こころの健康センターが合同で事前調査を行っている。移送方法は本市の救急車により大阪市こころの健康センター職員が同乗し、精神障がい者の人権に配慮した医療の確保に努めている。

【平成25年度実績 0件】

(4) 自立支援医療費(精神通院)支給認定・手帳交付審査会議の運営(委員数5名)

平成18年4月1日に精神保健福祉審議会の部会として設置し、平成21年8月1日からは、

組織を独立させ、審査会議として設置要綱を制定し、自立支援医療費（精神通院）支給認定、精神障がい者保健福祉手帳の交付について審査を行う会議の運営事務を行っている。

平成25年度開催回数 24 回

（５）精神障がい者保健福祉手帳の交付

各種の支援サービス利用を可能にし、精神障がい者の社会復帰と社会参加の促進を図るために交付している。

【平成25年度末精神障がい者保健福祉手帳交付者数 25,486名】

（ 1 級 2,733名 2 級 15,016名 3 級 7,737名）

ア 市営交通料金福祉措置

平成 9 年10月から、市営の地下鉄・市バス・ニュートラム等の乗車料金を等級に応じた割引を実施しており、手帳所持者に乗車料金割引証または無料乗車証を発行している。

イ 水道料金・下水道料金福祉措置

平成11年10月から、手帳の 1 級所持者世帯に対し、基本料金相当額（ 1 か月 1,576 円）の免除を実施している。（なお、福祉措置は平成25年9月末に終了した。）

（６）自立支援医療費（精神通院）の支給認定

障害者自立支援法に基づき精神障がい者の通院医療について、医療費の一部に対し公費負担を行っている。

【平成25年度末受給者証交付者数 49,419名】

【自立支援医療費（精神通院）公費負担額 8,574,332千円】

（７）精神障がい者地域生活移行支援

大阪市では平成 14 年 11 月から精神科病院に長期入院中の患者の退院に向けて地域生活移行支援事業を実施してきた。平成 18 年 4 月に障がい者自立支援法が成立し、地域生活支援事業のうち精神障がい者退院促進支援事業が都道府県業務となったが、大阪市は大阪府から委託をうけて、市内 9 か所の地域活動支援センター（生活支援型）の自立支援員やピアサポーターとともに事業を実施してきた。

また、平成 20 年度に、国による「地域移行支援特別対策事業実施要綱」が制定されたことで、本市も「コーディネーターの配置」「退院促進ピアサポート事業」「体験宿泊推進事業」を特別強化策として実施し、平成 21 年度には、本事業のさらなる推進を図るために「精神障がい者地域生活移行支援事業検討会議」を設置した。

平成 24 年度の障がい者自立支援法の改正により地域生活移行支援が個別給付となっている。

ア 地域生活移行支援の実施状況

(人)

| 年度 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
|---------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 退 院 | 16 | 13 | 13 | 10 | 13 | 18 | 21 | 19 | 15 | 14 |
| 退院に至らず支援中止・中断 | 4 | 0 | 2 | 6 | 1 | 1 | 2 | 2 | 2 | 6 |
| 退院に至らず支援継続 | 10 | 23 | 30 | 34 | 34 | 38 | 32 | 26 | 17 | 24 |
| 合 計 | 30 | 36 | 45 | 50 | 48 | 57 | 55 | 47 | 34 | 44 |

イ ピアサポーターによる啓発活動

ピアサポーターは、入院患者や病院関係者に対し地域生活について情報提供することで、入院患者の退院意欲を高めると共に、精神科病院職員の地域移行への士気を高めることで地域生活移行支援等の利用を促進することを目的として実施している。

院内交流会は、6病院で14回実施し、入院患者194名、病院職員118名、計312名が参加した。また、地域交流会は、5回実施し、入院患者66名、病院職員7名、地域支援者24名、計97名が参加した。

院内交流会

| 実 施 日 | 場 所 | 対 象 者 | 参加者数 |
|----------|--------|-----------|------|
| 25. 5.21 | 浅香山病院 | 入院患者、病院職員 | 33名 |
| 25. 8. 8 | こころあ病院 | | 10名 |
| 25. 9.10 | こころあ病院 | | 9名 |
| 25. 9.24 | 貝塚中央病院 | | 6名 |
| 25.10.24 | 浅香山病院 | | 22名 |
| 25.11. 7 | こころあ病院 | | 30名 |
| 25.11.20 | 浜寺病院 | | 7名 |
| 25.11.28 | 水間病院 | | 26名 |
| 25.12. 9 | 浜寺病院 | | 40名 |
| 25.12.12 | 浅香山病院 | | 26名 |
| 26. 1.10 | 国分病院 | 入院患者、病院職員 | 30名 |
| 26. 1.16 | 貝塚中央病院 | | 22名 |
| 26. 2. 3 | 国分病院 | | 27名 |
| 26. 2.28 | 浅香山病院 | | 24名 |

地域交流会

| 実施日 | 場 所 | 対 象 者 | 参加者数 |
|----------|------------------------------|---------------------|------|
| 25. 6.20 | 地域活動支援センター (こころの相談ネットふうが) | 入院患者、病院職員、 地域支援者 | 29名 |
| 25. 7.25 | 地域活動支援センター (こころの相談ネットふうが) | | 11名 |
| 26. 1.28 | 地域活動支援センター (こころの相談ネットふうが) | | 12名 |
| 26. 3. 4 | こころの健康センター | | 9名 |
| 26. 3.28 | 地域活動支援センター (こころの相談ネットふうが) | | 36名 |

市民への啓発

| 実施日 | 場 所 | 対 象 者 |
|----------|--------------|---------|
| 25. 7.25 | 住之江区保健福祉センター | 患者家族 |
| 25. 8. 9 | 阿倍野区保健福祉センター | |
| 25. 8.28 | 都島区保健福祉センター | |
| 25. 9.13 | 西区保健福祉センター | ボランティア |
| 25. 9.24 | 東淀川区保健福祉センター | 患者家族 |
| 25.10. 5 | 旭区保健福祉センター | 市民 |
| 25.10.28 | 東住吉区保健福祉センター | 市民 |
| 25.11.13 | 福島区保健福祉センター | ボランティア |
| 25.11.22 | 都島区保健福祉センター | 市民 |
| 25.11.22 | 東成区保健福祉センター | 介護支援専門員 |
| 25.12.12 | 中央区保健福祉センター | ボランティア |
| 25.12.16 | 西淀川区保健福祉センター | 患者家族 |
| 26. 2.28 | 阿倍野区保健福祉センター | ボランティア |

ウ ピアサポーター交流会

ピアサポーターが当事者支援の輪と活動の場を広げることを目的とし交流会を行った。

ピアサポーター交流会

| 実施日 | 内容 | 場所 | 参加者数 |
|----------|---------------------------------|------------------|------|
| 25. 7.18 | ・「語りの冊子」の活用方法 ・これからの活動について | こころの健康センター | 7名 |
| 25.11.20 | ・院内啓発について ・地域交流会について | こころの健康センター | 11名 |
| 25.12. 6 | ・ピアサポートについて ・大阪府域ピアサポーターとの交流 | 大阪府立急性期・総合医療センター | 6名 |

エ ピアサポーター養成講座

入院患者の退院意欲を高め、社会的入院を解消していくためには、当事者の仲間であるピアサポーターの存在が極めて重要かつ有効である。地域生活移行支援事業を利用して退院し地域生活を送っている精神障がい者等でピアサポート活動を希望する者を対象とし、当事者支援の輪と活動の場を広げることを目的に養成講座を開催している。平成 25 年度は 10 名修了した。

| 実施日 | 内容 | 講師 |
|----------|-----------------------------|--------------------------|
| 25. 9. 5 | ピアサポートの持つ意義と役割 | 大阪府立大学社会福祉学部准教授 松田 博幸 |
| 25. 9.12 | リカバリーについて | 大阪府立大学社会福祉学部准教授 松田 博幸 |
| 25. 9.19 | 退院促進の意義と大阪の精神科病院事情 | 大阪精神医療人権センター 山本 深雪 |
| 25. 9.26 | 精神科病院でのピアサポーターの関わりと地域での啓発活動 | ピアサポーター |
| 25.10. 7 | 語りの効果について | 桃山学院大学社会福祉学科教授 栄 セツコ |
| 25.10.16 | 語りの実際 | こころの健康センター 精神保健福祉相談員 |
| 25.10.21 | 語りの実際 | こころの健康センター 精神保健福祉相談員 |
| 25.10.28 | 語りの実践とその評価について | 桃山学院大学社会福祉学科教授 栄 セツコ |

オ 技術支援・コーディネート

| 内 容 | 訪問(件) | 電話(件) |
|---------------|-------|-------|
| 地域移行ケース相談 | 0 | 36 |
| 地域移行相談者への事前面接 | 20 | |
| ケースカンファレンス | 12 | |
| 地域移行相談者への継続面接 | 6 | |
| 地域移行ケア会議 | 12 | |
| 啓発活動・連絡調整 | 17 | 48 |
| 啓発講座 | 18 | |
| 合 計 | 85 | 84 |

カ 相談支援事業所への研修

障がい者基幹相談支援センター、地域活動支援センター(生活支援型)と協力し、相談支援事業所に研修を行った。

| 実 施 日 | 内 容 | 講 師 | 参加者数 |
|----------|-----------------------------------|----------------------------------|------|
| 26. 2.18 | ・当事者と支援者が語る地域移行支援 ・相談支援の対応について | 地域活動支援センター (生活支援型) ピアサポーター | 51名 |

キ 地域生活移行支援会議

| 実 施 日 | 内 容 | 場 所 | 参加者数 |
|----------|--------------------------------|-------------------------|------|
| 25. 4.25 | 地域生活移行支援会議の持ち方 | すいすい (地域活動支援センター) | 14名 |
| 25. 6.27 | アセスメントシートの作成 ピアサポート活動の情報共有 | サワサワ (地域活動支援センター) | 13名 |
| 25. 8.29 | 地域移行新規ケースの検討 病院での啓発について | もくれん (地域活動支援センター) | 11名 |
| 25.10.24 | 地域移行支援の更新について 地域移行の対象拡大について | ふれあいの里 (地域活動支援センター) | 10名 |
| 25.11.14 | 相談支援事業所への研修について | すいすい (地域活動支援センター) | 10名 |
| 25.12.26 | 地域移行支援に関する各種事務 手続きについて | リーフ (地域活動支援センター) | 14名 |
| 26. 1. 9 | 相談支援事業所への研修について | こころの健康センター | 8名 |
| 26. 2.27 | 次年度以降の取り組みについて | ふらっとめいじ (地域活動支援センター) | 7名 |

(8) 心神喪失者医療観察法に基づく社会復帰支援事業

重大な他害行為を行った心神喪失者等に対して継続的かつ適切な医療や地域ケアを確保して、その社会復帰を促進することを目的に心身喪失者等医療観察法が平成 17 年に施行された。

こころの健康センターでは、保護観察所および医療機関が定例的に実施するケア会議に出席し、関係機関、各区保健福祉センターが主体的に地域処遇にかかわれるよう技術支援をしている。

平成 17 年 7 月から 25 年度末までの対象者は 66 名で、平成 25 年度末までに医療観察処遇終了者は 32 名となっている。

ア 平成 25 年度医療観察法対象者および支援状況

対象者 : 32 名

処遇内訳:入院処遇対象者 16 名 通院処遇対象者 16 名

疾病別 :統合失調症 19 名 アルコール依存症 5 名

覚醒剤後遺症 4 名 妄想性障がい 3 名

境界性人格障がい 1 名

ケア会議出席:121回

イ 医療観察法関係研修

実施日:平成25年5月30日

テーマ:医療観察法における現状と課題について

講師:大阪保護観察所 社会復帰調整官

対象:精神保健福祉相談員

参加者:35名

(9) 精神科救急医療体制整備事業

ア こころの救急相談の設置(電話相談)

大阪府・堺市と共同で相談窓口の少ない夜間・休日の時間帯を中心に精神科救急医療の利用などについて、24時間体制で電話相談に応じることのできる「こころの救急相談」を平成 14 年 7 月 29 日に開設し、精神障がい者及び家族等からの様々な緊急的な相談に対して、精神保健福祉士等の専門相談員が当該精神障がい者や家族等の不安感などの緩和が図れるよう適切に対応するとともに、必要に応じて精神科救急病院の情報提供を行っている。また、相談内容で医療的な判断等が必要な場合は精神科救急病院の医師の助言を求めて速やかに対応している。

平成25年度（平成25年4月1日～平成26年3月31日）こころの救急相談実施状況

（大阪府下全域の合計件数）

(1) 相談利用

| 種別 | 件数(件) | 割合(%) |
|----|--------|-------|
| 新規 | 7,878 | 22.3 |
| 継続 | 26,061 | 73.6 |
| 不明 | 1,451 | 4.1 |
| 合計 | 35,390 | 100.0 |

(2) 利用者

| 種別 | 件数(件) | 割合(%) |
|-----|--------|-------|
| 本人 | 30,558 | 86.3 |
| 家族 | 3,417 | 9.7 |
| その他 | 1,415 | 4.0 |
| 合計 | 35,390 | 100.0 |

(3) 性別

| 種別 | 件数(件) | 割合(%) |
|----|--------|-------|
| 男 | 13,302 | 37.6 |
| 女 | 22,079 | 62.4 |
| 不明 | 9 | 0.0 |
| 合計 | 35,390 | 100.0 |

(4) 地域

| 種別 | 件数(件) | 割合(%) |
|------|--------|-------|
| 大阪市内 | 13,562 | 38.3 |
| 府域 | 16,717 | 47.3 |
| 他府県 | 471 | 1.3 |
| 不明 | 4,640 | 13.1 |
| 合計 | 35,390 | 100.0 |

(5) 年齢

| 種別 | 件数(件) | 割合(%) |
|--------|--------|-------|
| 10歳未満 | 0 | 0 |
| 10歳代 | 139 | 0.4 |
| 20歳代 | 1,335 | 3.8 |
| 30歳代 | 4,942 | 14.0 |
| 40歳代 | 10,316 | 29.1 |
| 50歳代 | 7,416 | 21.0 |
| 60歳代 | 1,535 | 4.3 |
| 70歳代 | 479 | 1.3 |
| 80歳代以上 | 140 | 0.4 |
| 不明 | 7,088 | 25.7 |
| 合計 | 35,390 | 100.0 |

(6) 相談内容（複数有り）

| 結果 | 件数(件) | 割合(%) |
|------|--------|-------|
| 医療機関 | 24,729 | 57.0 |
| 福祉関係 | 553 | 1.3 |
| その他 | 18,092 | 41.7 |
| 合計 | 43,374 | 100.0 |

イ 精神科救急医療情報センターの設置

「こころの救急相談」で相談を受けたあと、精神科救急医療情報センターの看護師や精神保健福祉士等が医療機関と連携して受診が必要かどうかを判断し、受診が必要な場合は症状等にあった医療機関に受診を予約している。

【受付時間】

平日 17時から翌朝9時
土曜日・休日 9時から翌朝9時

ウ 一次救急医療体制の整備

精神科救急医療情報センターで外来対応可能と判断された場合に、大阪市こころの健康センターにおいて外来対応を行っている。

【受付時間】

平日・土曜日 20時から23時
日曜日・休日 10時から16時

エ 二次救急医療体制の整備

精神科救急医療情報センターで入院医療も含めた救急受診が必要と判断された場合に速やかに入院できるよう、府内の精神科病院に救急入院用病床を確保するとともに外来対応も行っている。

【受付時間】

平 日 17時から翌朝9時

土曜日・休日 9時から翌朝9時

確保病床件数及び受診件数（大阪市・大阪府・堺市）

| | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 病床確保数 | 2,553 | 2,948 | 3,290 | 1,969 | 1,341 | 1,502 | 2,190 | 2,857 | 2,928 | 3,023 |
| 入院件数 | 2,164 | 1,893 | 1,395 | 1,297 | 1,227 | 1,346 | 1,361 | 1,379 | 1,518 | 1,309 |
| 外来受診件数 | 1,048 | 605 | 527 | 481 | 373 | 458 | 445 | 436 | 397 | 384 |
| 合計 | 3,212 | 2,498 | 1,922 | 1,778 | 1,600 | 1,804 | 1,806 | 1,815 | 1,915 | 1,693 |

オ 身体合併症治療体制の確保

平成14年4月1日から大阪府の精神科救急医療システムに参画し、大阪府・堺市と共同で身体合併症受入病院を府下に11病院確保している。

身体合併症受入病院（11病院）

北野病院・大阪大学医学部附属病院・大阪府立急性期・総合医療センター

大阪市立大学医学部附属病院・藍野病院・関西医科大学附属滝井病院・東香里病院

浅香山病院・大阪医科大学附属病院・大阪市立総合医療センター・大阪赤十字病院

身体合併症患者の受入件数（大阪市・大阪府・堺市）

| 病院名 | 精神科 病床数 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
|------------------|------------|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|----|
| 北野病院 | 12 | 4 | 1 | 1 | 3 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| 大阪大学医学部附属病院 | 52 | 1 | 0 | 3 | 1 | 4 | 1 | 1 | 1 | 0 | 2 |
| 大阪府立急性期・総合医療センター | 34 | 29 | 23 | 21 | 23 | 36 | 92 | 108 | 111 | 102 | 86 |
| 大阪市立大学医学部附属病院 | 40 | 1 | 4 | 4 | 2 | 7 | 3 | 5 | 6 | 5 | 1 |
| 藍野病院 | 600 | 91 | 89 | 77 | 57 | 75 | 127 | 74 | 74 | 73 | 78 |
| 関西医科大学附属滝井病院 | 39 | 3 | 3 | 2 | 6 | 3 | 2 | 3 | 4 | 10 | 9 |
| 東香里病院 | 173 | 25 | 16 | 31 | 25 | 29 | 21 | 16 | 18 | 5 | 17 |
| 浅香山病院 | 948 | 50 | 51 | 65 | 63 | 54 | 61 | 41 | 45 | 37 | 37 |

| | | | | | | | | | | | |
|--------------|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 大阪医科大学附属病院 | 60 | 10 | 5 | 5 | 15 | 10 | 9 | 6 | 8 | 9 | 9 |
| 大阪市立総合医療センター | 55 | 3 | 6 | 9 | 9 | 3 | 8 | 7 | 9 | 22 | 24 |
| 大阪赤十字病院 | 42 | 10 | 12 | 5 | 8 | 7 | 9 | 4 | 2 | 5 | 2 |
| 合 計 | | 227 | 210 | 223 | 212 | 229 | 334 | 265 | 278 | 269 | 265 |

病床数は平成26年3月31日現在の数である。

平成 25 年度 精神科身体合併症患者の診療科別受入状況(平成 25 年 4 月 1 日 ~ 平成 26 年 3 月 31 日)

| 診療科目 | 受入数 | 構成比(%) | 主な病名 |
|--------|-----|--------|---|
| 内科 | 67 | 25.3% | 腸閉塞(疑い) 下血 肺炎(疑い) 腎臓癌術後甲状腺機能低下症 両眼球結膜・顔面・体幹部の黄染 肝機能障害 誤嚥性肺炎 貧血 左肺炎 型糖尿病 高血圧症 慢性心不全 低ナトリウム血症 間質性肺炎 消化管出血(疑い) 尿路感染症(疑い) 口腔底癌悪性腫瘍術後 脳挫傷 外傷性くも膜下出血 肝障害 鉄欠乏性貧血 気管支喘息 全身白癩 神経梅毒 腎盂腎炎(疑い) 脱水 不明熱 腎機能障害 嘔吐 胃潰瘍(疑い) リチウム中毒 急性腎不全 褥瘡感染 大腸ポリープ 顔面打撲 意識障害 悪性症候群(疑) 糖尿病 難聴 心不全 肺炎 足爪白癩 重症貧血 肝臓癌(疑) 大腸癌(疑) 胃癌(疑) 横紋筋融解症 慢性腎不全 アルコール性肝硬変 肝肥大 嘔吐 非定型抗酸菌 腸閉塞下血 誤嚥性肺炎後 高ナトリウム血症 高血圧症 肝性脳症(疑い) 神経型パーチェット病 貧血 C型肝炎 急性胆のう炎(疑) 胸水貯留 慢性腎不全 慢性心不全 突発性多発性肺炎 クロウン病 腎不全 高カリウム血症 気管支喘息 ヘルペス脳炎後遺症 骨髄異形成症候群(疑い) 重度貧血 低血糖性脳症 1型糖尿病 運動性失語 イレウス 貧血 直腸癌 消化管出血 |
| 外科 | 41 | 15.5% | 左乳癌 上肢蜂巣炎 消化管異物 気道異物 イレウス 胆のう癌術後 肝転移 進行麻痺 急性胆管炎(疑い) 腸閉塞 心不全 慢性閉塞性肺疾患 悪性腫瘍(疑い) 腸捻転(疑い) 腹部刺創後 乳癌 肝細胞癌 胆管癌 乳房中央部乳癌 痔核 乳房上外側部乳癌 十二指腸癌 胃体部癌 肺リンパ脈管筋腫症 右方肺移植後 左気胸(疑) 子宮体癌 乳頭部乳癌 大腸癌 膵臓癌(疑い) 直腸癌(疑い) 乳癌再発 癒着性イレウス 麻痺性イレウス 嚥下障害 痔瘻 内痔核 巨大S状結腸症 痔核 両側兎径ヘルニア 胃癌 |
| 脳神経外科 | 1 | 0.4% | 塞栓性脳梗塞 |
| 整形外科 | 33 | 12.5% | 左膝関節内骨折 顔面骨折 肺挫傷 肺脂肪塞栓症 上腕骨折 左大腿骨転子部骨折 右大腿骨頸部骨折(手術) 膝蓋骨骨折(手術) 人工関節置換術目的 脊髄損傷 神経因性膀胱 右上腕骨骨折 右肋骨骨折 アナフィラキシー(疑) 糖尿病 脂質異常症 両変形性膝関節症 大腿骨頸部骨折 右脛骨骨幹部骨折 右脛骨腓骨骨折 左大腿骨頸部骨折 大腿骨骨折術後の再骨折 左膝蓋骨術後感染 仙骨線状骨折 左白蓋骨折 左肩甲骨骨折 右多発肋骨骨折 肺炎胸 胸骨骨折 右第一肋骨骨折 高血圧 発語障害 左大腿骨転子部 ~ 転子下骨折 左上腕骨近位端骨折 右大腿骨頸部内側骨折 右大腿骨転子部 ~ 転子下骨折 大腿骨転子部骨折(手術) 腎不全(透析) 第一腰椎破裂骨折 右足打撲床 左大腿動脈損傷(疑い) 左前腕切傷 |
| 泌尿器科 | 7 | 2.6% | 尿管狭窄 尿道狭窄 腎盂腎炎 膀胱結石 二分脊椎 右尿管腫瘍(疑い) 急性腎不全 |
| 脳外科 | 6 | 2.3% | 急性硬膜下血腫(自傷) 脳幹梗塞 脳動静脈奇形(検査目的) 高次脳機能障害 言語障害 脳挫傷 第6頸椎骨折 急性硬膜外血腫 |
| 眼科 | 10 | 3.8% | 緑内障 白内障 眼球破裂 網膜剥離 両眼白内障 右白内障 右側裂孔原生網膜剥離 |
| 耳鼻咽喉科 | 2 | 0.8% | 右顎下腺唾石症(手術) 甲状腺癌(手術) |
| 皮膚科 | 4 | 1.5% | 重症薬疹 熱傷 高血圧症 脂ろう性皮膚炎 両第一趾白癩 右眉毛基底部細胞癌 仙骨部褥瘡 |
| 口腔外科 | 7 | 2.6% | 下顎骨折(手術) 智歯周囲炎 齲歯 顔面骨骨折 術後性上顎のう胞(手術) 下顎のう胞 |
| 産婦人科 | 1 | 0.4% | 子宮筋腫 |
| 救急診療科 | 34 | 12.8% | 十二指腸潰穿孔 腸壊死の疑い 右上腕骨折(手術) 意識障害 肺炎 アルコール性肝不全 重症肺炎 肺化膿症 熱中症 高度貧血 後天性血友病 A 墜落外傷(右踵骨骨折) 右足第3指壊疽(切断手術) 神経パーチェット病 悪性症候群 横紋筋融解症 急性腎不全 多発骨折 左上腕骨骨折 腎性尿崩症 リチウム中毒 意識障害 切創(頸部、左手首) 突然の呼吸困難(COPD・肺炎腫に気胸を併発) 頭部外傷(急性硬膜外血腫、頭蓋骨骨折)(ベットから転落) 消化管異物(ライター、ヘアピン) 尿路感染症 敗血症 総胆管結石嵌頓(自然落下) 誤嚥性肺炎 褥瘡(仙骨部) 自然気胸 COPD 墜落外傷(左恥骨骨折 左鎖骨遠位骨折) 墜落(胸腰椎 仙骨 尾骨 肋骨骨折、前縦隔血腫) 虫垂炎 意識消失発作 大腿骨転子骨折 |
| 婦人科 | 2 | 0.8% | S状結腸癌 卵巣嚢腫 |
| 消化器外科 | 1 | 0.4% | 卵巣嚢腫 |
| 消化器内科 | 10 | 3.8% | 胃瘻造設 消化管出血 肝癌 上部消化管出血 肝細胞癌(TACE 目的) 消化管異物(ヘアピン) 気腫性胆のう炎 膵頭部癌 肝癌 TACE 6回目 |
| 神経内科 | 4 | 1.5% | てんかんけいれん発作 ウェルニッケ脳症 脳炎 誤嚥性肺炎 |
| 血液内科 | 1 | 0.4% | 後天性血友病 A |
| 呼吸器内科 | 10 | 3.8% | 肺癌(化学療法) 間質性肺炎 肺炎の癒痕 肺炎 るいそう 摂食困難 肺腫瘍 肺癌(気管支鏡目的) 膿胸 肺癌(肺門部腺癌) 膵癌疑い 上葉非小細胞肺癌 |
| 呼吸器外科 | 2 | 0.8% | 上葉肺癌(手術) 反復性気胸 両側肺炎腫 |
| 神経科精神科 | 4 | 1.5% | m - ECT 踵骨骨折 頸椎症性脊髄症 |
| 心臓内科 | 3 | 1.1% | 肺塞栓症 深部静脈血栓症 悪性症候群 肺塞栓症 急性心筋梗塞 |
| 総合診療科 | 2 | 0.8% | 複雑性腎盂腎炎 肺炎 敗血症 |
| 臨床腫瘍科 | 3 | 1.1% | 肺癌(疑) 肺癌 中皮腫(疑い) |
| 乳腺内分泌科 | 1 | 0.4% | 右乳癌 |
| 乳腺外科 | 2 | 0.8% | 右乳癌 乳癌 |
| 循環器内科 | 1 | 0.4% | 意識消失発作 |
| 循環器科 | 1 | 0.4% | 高血圧、低K血症 |
| 形成外科 | 2 | 0.8% | 褥瘡 |
| 腎臓内科 | 3 | 1.1% | 急性腎盂腎炎 急性腎不全 抗Na血症 意識障害 誤嚥性肺炎 急性腎不全 |
| 合計 | 265 | 100.0% | |

おおさか精神科救急情報センター 平成25年度（平成25年4月～26年3月）実績報告

1. 対応件数

(件)

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 総件数 | 265 | 323 | 258 | 269 | 253 | 257 | 243 | 264 | 264 | 269 | 210 | 281 | 3,156 |

2. 相談経路

| | 件数 |
|------------|-------|
| 救急隊 | 935 |
| こころの救急より転送 | 1,178 |
| 警察 | 858 |
| その他 | 185 |
| 合計 | 3,156 |

3. 発生地域

| | 件数 |
|---------|-------|
| 大阪府 | 1,664 |
| 大阪市 | 1,266 |
| 堺市 | 224 |
| 府外発生対象外 | 2 |
| 不明 | 0 |
| 合計 | 3,156 |

4. 対象者性別

| | 件数 |
|----|-------|
| 男性 | 1,473 |
| 女性 | 1,661 |
| 不明 | 22 |
| 合計 | 3,156 |

5. 対応医療機関件数

(件)

| | |
|--------------|-------|
| 浅香山 | 6 |
| 小曽根 | 8 |
| こころあ(もと貝塚サナ) | 25 |
| 貝塚中央 | 49 |
| 木 島 | 109 |
| 久米田 | 149 |
| 京 阪 | 25 |
| 光 愛 | 4 |
| 国 分 | 174 |
| 阪 本 | 34 |
| さ わ | 350 |
| 汐の宮温泉 | 138 |
| 七 山 | 119 |
| ねや川サナトリウム | 33 |
| 阪 南 | 312 |
| 水 間 | 15 |
| 浜 寺 | 37 |
| 茨 木 | 10 |
| 新阿武山 | 37 |
| 大阪さやま | 21 |
| 山 本 | 13 |
| 関西サナトリウム | 9 |
| 丹比荘 | 40 |
| 阪奈サナトリウム | 17 |
| ほくとクリニック | 206 |
| 関西記念 | 36 |
| 吉 村 | 29 |
| オレンジホスピタル | 6 |
| 小 阪 | 2 |
| 榎 坂 | 3 |
| 合 計 | 2,027 |

6. 時間帯別入電件数

(件)

| | |
|-------------|-------|
| 0:00~0:59 | 126 |
| 1:00~1:59 | 107 |
| 2:00~2:59 | 91 |
| 3:00~3:59 | 91 |
| 4:00~4:59 | 79 |
| 5:00~5:59 | 68 |
| 6:00~6:59 | 55 |
| 7:00~7:59 | 37 |
| 8:00~8:59 | 2 |
| 9:00~9:59 | 99 |
| 10:00~10:59 | 97 |
| 11:00~11:59 | 98 |
| 12:00~12:59 | 80 |
| 13:00~13:59 | 99 |
| 14:00~14:59 | 84 |
| 15:00~15:59 | 81 |
| 16:00~16:59 | 78 |
| 17:00~17:59 | 307 |
| 18:00~18:59 | 287 |
| 19:00~19:59 | 262 |
| 20:00~20:59 | 280 |
| 21:00~21:59 | 245 |
| 22:00~22:59 | 220 |
| 23:00~23:59 | 183 |
| 合 計 | 3,156 |

(10) 精神保健福祉に関する予算・決算業務

社会復帰施設の建設・整備以外の精神保健福祉に関する事業の予算・決算業務等を大阪市こころの健康センターで実施している。

第 3 資 料

1 大阪市精神保健福祉審議会 開催内容

第1回 平成8年4月30日(火) 於;大阪コクサイホテル
審議事項

- ・大阪市精神保健福祉審議会の設置について
- ・大阪市精神保健福祉審議会条例

第2回 平成9年9月12日(金) 於;大阪第一ホテル
審議事項

- ・大阪市の精神保健福祉センターの機能のあり方について
- ・(仮称)大阪市障害者支援プランについて

報告事項

- ・平成9年度精神保健福祉関係事業について
- ・大和川病院について

第3回 平成10年9月11日(金) 於;大阪市役所
審議事項

- ・審議会の公開について
- ・大阪市障害者支援プランについて
- ・地域保健法及び地域精神保健福祉体制について

報告事項

- ・平成10年度精神保健福祉事業について
- ・精神保健福祉法の改正について

第4回 平成12年2月22日(火) 於;大阪市役所
審議事項

- ・「大阪市障害者支援プラン」の進捗状況等について
- ・「(仮称)大阪市こころの健康センター」の設置と新たな地域精神保健福祉体制について
- ・大阪市内における精神科救急体制の検討について
- ・施設コンフリクトの解消に向けた基本的な考え方について

報告事項

- ・精神保健福祉法の改正について

第5回 平成13年2月8日(木) 於;こころの健康センター
審議事項

- ・「大阪市内における精神科救急医療体制の整備に関する中間とりまとめ

(案)」について

報告事項

- ・「大阪市障害者支援プラン」の進捗状況等について
- ・大阪市こころの健康センターの事業実績等について

第6回 平成14年3月28日(木) 於；こころの健康センター

審議事項

- ・大阪市内域の精神科救急医療体制の整備について

報告事項

- ・「大阪市障害者支援プラン」の進捗状況等について
- ・精神保健福祉に関する平成14年度新規事業

第7回 平成15年2月7日(金) 於；こころの健康センター

審議事項

- ・(仮称)大阪市精神科救急医療部会の設置について
- ・新障害者支援計画の策定について

報告事項

- ・大阪市こころの健康センターの事業実績等について

第8回 平成16年3月26日(金) 於；こころの健康センター

報告事項

- ・「大阪市障害者支援計画・重点施策実施計画」の策定について
- ・「通院医療費公費負担・手帳交付審査部会」「精神科救急医療部会」開催状況について
- ・大阪市こころの健康センター事業実績及び平成16年度予算(案)の概要について

第9回 平成17年3月28日(月) 於；大阪市立大学医学部医療研修センター

報告事項

- ・「大阪市障害者支援計画・重点施策実施計画」の進捗状況について(報告)
- ・「通院医療費公費負担・手帳交付審査部会」「精神科救急医療部会」の開催状況について(報告)
- ・大阪市こころの健康センター事業実績及び平成17年度予算(案)の概要について
- ・「心神喪失者等医療観察法」について
- ・障害者自立支援法案の概要

第10回 平成18年3月28日(火) 於；こころの健康センター

報告事項

- ・障害者自立支援法案の概要について
- ・「通院医療費公費負担・手帳交付審査部会の開催状況について」
- ・新たな精神科救急医療体制について
- ・大阪市こころの健康センター事業実績及び平成18年度予算(案)の概要について
- ・精神保健福祉法改正に伴う精神保健福祉審議会の取り扱いについて

第11回 平成19年3月26日(月) 於；こころの健康センター

報告事項

- ・「精神科救急医療部会」の開催状況について
- ・「自立支援医療費(精神通院)支給認定・手帳交付審査部会」の開催状況について
- ・精神保健福祉関係平成19年度予算の概要について
- ・障害者自立支援法に基づく福祉サービスの現状について
- ・障害福祉計画について

第12回 平成20年3月26日(水) 於；こころの健康センター

審議事項

- ・「自殺防止対策部会」の設置について

報告事項

- ・精神保健福祉関係平成20年度予算の概要について
- ・「精神科救急医療部会」の開催状況について
- ・「自立支援医療費(精神通院)支給認定・手帳交付審査部会」への部会名称変更及び開催状況について
- ・精神保健及び精神障害者福祉に関する法律施行条例について
- ・障がい者福祉サービスの現状について

第13回 平成21年3月30日(月) 於；こころの健康センター

審議事項

- ・「大阪市自殺対策基本指針(案)」について

報告事項

- ・「精神科救急医療部会」の開催状況について
- ・「自立支援医療費(精神通院)支給認定・手帳交付審査部会」の開催状況について

- ・精神保健福祉関係平成21年度予算の概要について
- ・第2期大阪市障害福祉計画について

第14回 平成22年 1月21日(木) 於；こころの健康センター
審議事項

- ・会長の選出について
- ・精神保健及び精神障害者福祉に関する法律施行条例の一部改正について
- ・専門部会の再開について

報告事項

- ・自殺防止対策関係識者検討会議の報告について
- ・今後のスケジュールについて

第15回 平成22年 3月26日(金) 於；こころの健康センター
報告事項

- ・「精神科救急医療部会」の開催状況について
- ・「自殺防止対策部会」の開催状況について
- ・平成22年度精神保健福祉関係予算の概要について

第16回 平成23年 3月14日(月) 於；こころの健康センター
報告事項

- ・「精神科救急医療部会」の開催状況について
- ・「自殺防止対策部会」の開催状況について
- ・平成23年度精神保健福祉関係予算の概要について
- ・障害者制度改革等について

第17回 平成24年 3月29日(木) 於；こころの健康センター
報告事項

- ・「精神科救急医療部会」の開催状況について
- ・「自殺防止対策部会」の開催状況について
- ・大阪市障害者支援計画・障害福祉計画について
- ・平成24年度精神保健福祉関係予算の概要について

第18回 平成25年 3月26日(火) 於；こころの健康センター
報告事項

- ・「精神科救急医療部会」の開催状況について
- ・「自殺防止対策部会」の開催状況について
- ・平成25年度精神保健福祉関係予算の概要について

第19回 平成26年3月26日(水) 於；こころの健康センター

報告事項

- ・「大阪府精神科救急医療運営審議会」の開催状況について
- ・「大阪市精神保健福祉審議会自殺防止対策部会」の開催状況について
- ・平成26年度精神保健福祉関係予算の概要について
- ・次期大阪市障がい者支援計画・大阪市障がい福祉計画の策定について

2 精神医療審査会

(1) 運営状況

ア 精神医療審査会の開催状況（過去10年間） (回)

| | | 年度 | | | | | | | | | |
|---|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| | | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
| 審 | 査 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 合 | 議 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 |

イ 入院届の審査状況（過去10年間） (件)

| | | 年度 | | | | | | | | | |
|--------|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| | | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
| 入 | 院 | 129 | 122 | 159 | 199 | 392 | 573 | 590 | 670 | 664 | 672 |
| 結 果 | 現入院形態が適当 | 129 | 122 | 159 | 199 | 392 | 573 | 590 | 670 | 664 | 672 |
| | 他の入院形態へ移行 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 入院の必要なし | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

ウ 医療保護入院者定期病状報告の審査状況（過去10年間） (件)

| | | 年度 | | | | | | | | | |
|--------|-----------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| | | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
| 定 | 期 | 4 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 結 果 | 現入院形態が適当 | 4 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 他の入院形態へ移行 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 入院の必要なし | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

エ 措置入院者定期病状報告の審査状況（過去10年間） (件)

| | | 年度 | | | | | | | | | |
|--------|-----------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| | | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
| 定 | 期 | 19 | 26 | 22 | 31 | 16 | 29 | 21 | 17 | 24 | 39 |
| 結 果 | 現入院形態が適当 | 19 | 25 | 22 | 31 | 16 | 29 | 21 | 17 | 24 | 39 |
| | 他の入院形態へ移行 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 入院の必要なし | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

オ 退院請求の審査状況（過去10年間） （件）

| | | 年度 | | | | | | | | | |
|---------|-----------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| | | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
| 退 院 請 求 | | 32 | 25 | 12 | 5 | 10 | 13 | 14 | 19 | 11 | 16 |
| 結 果 | 現入院形態が適当 | 9 | 9 | 6 | 1 | 4 | 4 | 4 | 6 | 2 | 2 |
| | 他の入院形態へ移行 | 4 | 4 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 2 | 1 | 5 |
| | 取 り 下 げ 等 | 19 | 12 | 6 | 4 | 5 | 9 | 10 | 11 | 8 | 9 |

カ 処遇改善請求の審査状況（過去10年間） （件）

| | | 年度 | | | | | | | | | |
|-------------|-----------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| | | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
| 処 遇 改 善 請 求 | | 2 | 3 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 結 果 | 処 遇 が 適 当 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| | 処遇が適当でない | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 取 り 下 げ 等 | 2 | 3 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 2 | 3 | 4 |

(2) 実地審査状況（過去10年間） （件）

| | | 年度 | | | | | | | | | |
|---------|-----------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| | | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
| 審 査 件 数 | | 24 | 23 | 19 | 10 | 22 | 16 | 17 | 21 | 26 | 24 |
| 結 果 | 現入院形態が適当 | 24 | 22 | 19 | 10 | 22 | 16 | 17 | 21 | 26 | 24 |
| | 他の入院形態へ移行 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 |
| | 入院の必要なし | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

3 措置（緊急措置）診察・入院状況（過去10年間）

（件）

| 年度 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
|-------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 申請・通報件数 | 222 | 148 | 166 | 182 | 197 | 199 | 246 | 290 | 294 | 302 |
| 23条申請 | 2 | 4 | 1 | 3 | 3 | 2 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| 診察せず・取下げ他 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| 措置診察件数 | 2 | 4 | 1 | 2 | 3 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 措置入院件数 | 2 | 4 | 1 | 2 | 3 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 非該当件数 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 24条通報 | 178 | 124 | 119 | 97 | 94 | 99 | 127 | 134 | 133 | 121 |
| 診察せず・取下げ他 | 47 | 21 | 28 | 32 | 37 | 32 | 49 | 59 | 79 | 80 |
| 措置診察件数 | 131 | 103 | 91 | 65 | 57 | 67 | 78 | 75 | 54 | 41 |
| 措置入院件数 | 89 | 60 | 57 | 57 | 51 | 57 | 73 | 73 | 50 | 39 |
| 非該当件数 | 42 | 43 | 10 | 8 | 6 | 10 | 5 | 2 | 4 | 2 |
| 25条通報 | 18 | 15 | 15 | 24 | 41 | 30 | 31 | 31 | 43 | 36 |
| 診察せず・取下げ他 | 3 | 2 | 2 | 12 | 17 | 12 | 12 | 2 | 7 | 12 |
| 措置診察件数 | 15 | 13 | 13 | 12 | 24 | 18 | 19 | 29 | 36 | 24 |
| 措置入院件数 | 11 | 6 | 11 | 9 | 21 | 11 | 14 | 24 | 34 | 19 |
| 非該当件数 | 4 | 7 | 7 | 3 | 3 | 7 | 5 | 5 | 2 | 5 |
| 25条の2、26条通報 | 24 | 5 | 31 | 70 | 59 | 68 | 88 | 125 | 118 | 145 |
| 診察せず・取下げ他 | 22 | 2 | 31 | 68 | 58 | 68 | 87 | 124 | 116 | 143 |
| 措置診察件数 | 2 | 3 | 0 | 2 | 1 | 0 | 1 | 1 | 2 | 2 |
| 措置入院件数 | 2 | 1 | 0 | 2 | 1 | 0 | 1 | 1 | 2 | 2 |
| 非該当件数 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 緊急措置診察件数 | 139 | 148 | 160 | 194 | 150 | 138 | 135 | 110 | 122 | 104 |
| 緊急措置入院件数 | 116 | 125 | 132 | 159 | 121 | 125 | 114 | 93 | 110 | 90 |
| 本鑑定実施せず他 | 35 | 31 | 37 | 19 | 5 | 14 | 17 | 6 | 11 | 7 |
| 本鑑定件数 | 80 | 94 | 95 | 140 | 116 | 111 | 97 | 87 | 99 | 83 |
| 該当件数 | 65 | 74 | 91 | 100 | 102 | 91 | 81 | 75 | 87 | 75 |
| 非該当件数 | 15 | 20 | 20 | 40 | 14 | 20 | 16 | 12 | 12 | 8 |
| 非該当件数 | 23 | 23 | 28 | 35 | 29 | 13 | 21 | 16 | 12 | 14 |

同年度において「緊急措置入院件数＝本鑑定実施せず＋本鑑定件数」となっていない年度があるのはその年度末の緊急措置診察の本鑑定を翌年度に行っているため。

大阪府下の精神科病床を有する病院（平成25年9月末日現在）

| | 病 院 数 | 指定病院数 | 精神科病床 |
|------------------------|-------|-------|---------|
| 大 阪 市 内 | 6病院 | 4病院 | 241床 |
| 堺 市 内 | 6病院 | 4病院 | 2,919床 |
| 大 阪 府 下 (大阪市・堺市を除く) | 49病院 | 34病院 | 16,329床 |
| 合 計 | 61病院 | 42病院 | 19,489床 |

大阪市内の精神科病床を有する病院（平成25年9月末日現在）

| | | 病 院 名 | 精神科病床 |
|---------|---------|--------------------|-------|
| 大 阪 市 内 | 指 定 病 院 | 大阪府立急性期・総合医療センター | 34床 |
| | | 大阪市立総合医療センター | 55床 |
| | | 大阪市立大学医学部附属病院 | 38床 |
| | | ほくとクリニック病院（H20.9～） | 50床 |
| | そ の 他 | 北野病院 | 12床 |
| | | 大阪赤十字病院 | 42床 |
| 合 計 | | | 231床 |

4 精神障がい者保健福祉手帳交付状況（過去10年間）

（人）

| 年度 | | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
|-------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | 等 級 | 1 級 | 1,857 | 2,041 | 2,048 | 2,134 | 2,215 | 2,376 | 2,547 | 2,668 |
| 2 級 | 6,136 | | 7,139 | 7,710 | 8,606 | 9,659 | 10,775 | 11,961 | 13,354 | 14,313 | 15,016 |
| 3 級 | 2,299 | | 2,626 | 2,759 | 3,029 | 3,512 | 4,200 | 4,814 | 5,337 | 6,361 | 7,737 |
| 交付数 計 | | 10,292 | 11,806 | 12,517 | 13,769 | 15,386 | 17,351 | 19,322 | 21,359 | 23,396 | 25,486 |

5 精神障がい者保健福祉手帳所持者数

(25年度末現在) (人)

| 区 | 等級 | 1級 | 2級 | 3級 | 計 |
|-----|----|-------|--------|-------|--------|
| 北 | | 57 | 368 | 261 | 686 |
| 都島 | | 91 | 486 | 287 | 864 |
| 福島 | | 42 | 182 | 94 | 318 |
| 此花 | | 84 | 329 | 217 | 630 |
| 中央 | | 46 | 275 | 164 | 485 |
| 西 | | 55 | 241 | 168 | 464 |
| 港 | | 77 | 457 | 240 | 774 |
| 大正 | | 76 | 443 | 216 | 735 |
| 天王寺 | | 46 | 252 | 137 | 435 |
| 浪速 | | 58 | 384 | 264 | 706 |
| 西淀川 | | 82 | 361 | 236 | 679 |
| 淀川 | | 177 | 876 | 318 | 1,371 |
| 東淀川 | | 166 | 1,270 | 513 | 1,949 |
| 東成 | | 63 | 470 | 192 | 725 |
| 生野 | | 177 | 730 | 338 | 1,245 |
| 旭 | | 137 | 540 | 268 | 945 |
| 城東 | | 145 | 822 | 375 | 1,342 |
| 鶴見 | | 90 | 508 | 218 | 816 |
| 阿倍野 | | 90 | 546 | 245 | 881 |
| 住之江 | | 117 | 681 | 379 | 1,177 |
| 住吉 | | 214 | 1,070 | 580 | 1,864 |
| 東住吉 | | 148 | 908 | 459 | 1,515 |
| 平野 | | 307 | 1,479 | 751 | 2,537 |
| 西成 | | 188 | 1,338 | 817 | 2,343 |
| 合計 | | 2,733 | 15,016 | 7,737 | 25,486 |

7 自立支援医療費(精神通院)受給者数

(25年度末現在)(人)

| 区 | 受給者数 |
|-----|--------|
| 北 | 1,608 |
| 都島 | 1,672 |
| 福島 | 823 |
| 此花 | 1,193 |
| 中央 | 1,059 |
| 西 | 999 |
| 港 | 1,470 |
| 大正 | 1,374 |
| 天王寺 | 1,026 |
| 浪速 | 1,297 |
| 西淀川 | 1,458 |
| 淀川 | 3,159 |
| 東淀川 | 4,071 |
| 東成 | 1,473 |
| 生野 | 2,566 |
| 旭 | 1,900 |
| 城東 | 2,802 |
| 鶴見 | 1,687 |
| 阿倍野 | 1,675 |
| 住之江 | 2,200 |
| 住吉 | 3,452 |
| 東住吉 | 2,609 |
| 平野 | 4,316 |
| 西成 | 3,530 |
| 合計 | 49,419 |

6 自立支援医療費(精神通院)受給者数状況(過去10年間)

(人)

| 年度 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
|------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 受給者数 | 30,518 | 33,159 | 32,529 | 32,126 | 35,056 | 37,842 | 41,313 | 43,878 | 46,918 | 49,419 |

8 保健福祉センターにおける相談指導の状況

(平成25年度実績)

| | 精神保健福祉相談 | | 電話相談 延べ件数 | 訪問指導 | | 精神保健福祉 相談総合計 + + |
|---------|----------|--------|--------------|-------|-------|------------------------|
| | 所 内 | | | 実人員 | 延べ件数 | |
| | 実人員 | 延べ件数 | | | | |
| 北 | 332 | 1,071 | 1,552 | 107 | 253 | 2,876 |
| 都 島 | 179 | 936 | 637 | 107 | 160 | 1,733 |
| 福 島 | 166 | 744 | 581 | 76 | 305 | 1,630 |
| 此 花 | 135 | 691 | 343 | 43 | 107 | 1,141 |
| 中 央 | 118 | 639 | 649 | 64 | 130 | 1,418 |
| 西 | 167 | 772 | 265 | 56 | 117 | 1,154 |
| 港 | 266 | 1,254 | 678 | 68 | 198 | 2,130 |
| 大 正 | 353 | 2,059 | 978 | 93 | 224 | 3,261 |
| 天 王 寺 | 129 | 637 | 590 | 74 | 174 | 1,401 |
| 浪 速 | 111 | 642 | 283 | 57 | 120 | 1,045 |
| 西 淀 川 | 225 | 1,090 | 566 | 33 | 57 | 1,713 |
| 淀 川 | 229 | 1,026 | 1,136 | 101 | 197 | 2,359 |
| 東 淀 川 | 370 | 1,744 | 886 | 127 | 402 | 3,032 |
| 東 成 | 150 | 499 | 304 | 31 | 61 | 864 |
| 生 野 | 306 | 1,870 | 927 | 72 | 142 | 2,939 |
| 旭 | 125 | 711 | 527 | 34 | 92 | 1,330 |
| 城 東 | 233 | 799 | 471 | 79 | 139 | 1,409 |
| 鶴 見 | 169 | 846 | 346 | 45 | 128 | 1,320 |
| 阿 倍 野 | 182 | 1,157 | 164 | 69 | 122 | 1,443 |
| 住 之 江 | 158 | 849 | 723 | 76 | 124 | 1,696 |
| 住 吉 | 288 | 860 | 610 | 132 | 189 | 1,659 |
| 東 住 吉 | 381 | 1,834 | 826 | 150 | 279 | 2,939 |
| 平 野 | 306 | 1,631 | 1,513 | 122 | 270 | 3,414 |
| 西 成 | 497 | 2,179 | 1,690 | 230 | 464 | 4,333 |
| 西 成 分 館 | 23 | 41 | | 37 | 37 | 78 |
| 合 計 | 5,598 | 26,581 | 17,245 | 2,083 | 4,491 | 48,317 |

9 保健福祉センターにおける一般クリニックの状況

(平成25年度実績)

| | 一般クリニック | | |
|-------|---------|------|------|
| | 回数 | 実人員 | 延人員 |
| 北 | 32 | 59 | 97 |
| 都 島 | 31 | 61 | 83 |
| 福 島 | 42 | 64 | 111 |
| 此 花 | 28 | 29 | 38 |
| 中 央 | 29 | 37 | 48 |
| 西 | 29 | 50 | 58 |
| 港 | 42 | 67 | 76 |
| 大 正 | 38 | 93 | 119 |
| 天 王 寺 | 38 | 55 | 69 |
| 浪 速 | 43 | 48 | 73 |
| 西 淀 川 | 41 | 74 | 103 |
| 淀 川 | 41 | 63 | 90 |
| 東 淀 川 | 40 | 71 | 85 |
| 東 成 | 37 | 46 | 60 |
| 生 野 | 32 | 60 | 92 |
| 旭 | 21 | 22 | 30 |
| 城 東 | 41 | 47 | 105 |
| 鶴 見 | 31 | 51 | 64 |
| 阿 倍 野 | 35 | 50 | 58 |
| 住 之 江 | 32 | 73 | 86 |
| 住 吉 | 41 | 80 | 113 |
| 東 住 吉 | 42 | 81 | 90 |
| 平 野 | 33 | 50 | 61 |
| 西 成 | 46 | 36 | 140 |
| 西成分館 | 14 | 14 | 16 |
| 合 計 | 879 | 1381 | 1965 |

10 保健福祉センターにおけるグループワーク・酒害教室の状況

(平成25年度実績)

| | グループワーク | | | | | 酒害教室 | | | | |
|-------|---------|-----|-----|------|------|------|-----|-----|------|-----|
| | 回数 | 実人員 | | 延人員 | | 回数 | 実人員 | | 延人員 | |
| | | 男 | 女 | 男 | 女 | | 男 | 女 | 男 | 女 |
| 北 | 44 | 7 | 3 | 180 | 37 | 23 | 29 | 15 | 74 | 56 |
| 都 島 | 47 | 11 | 18 | 232 | 253 | | | | | |
| 福 島 | 47 | 9 | 8 | 163 | 77 | | | | | |
| 此 花 | 47 | 9 | 9 | 198 | 115 | | | | | |
| 中 央 | 47 | 8 | 3 | 137 | 78 | | | | | |
| 西 | 47 | 5 | 4 | 143 | 31 | 10 | 29 | 9 | 101 | 31 |
| 港 | 46 | 9 | 7 | 224 | 242 | 10 | 25 | 25 | 94 | 43 |
| 大 正 | 45 | 12 | 6 | 210 | 149 | 12 | 31 | 18 | 128 | 56 |
| 天 王 寺 | 41 | 5 | 6 | 124 | 193 | | | | | |
| 浪 速 | 45 | 10 | 2 | 243 | 33 | | | | | |
| 西 淀 川 | 46 | 5 | 5 | 187 | 110 | 24 | 21 | 11 | 118 | 51 |
| 淀 川 | 47 | 15 | 11 | 280 | 179 | | | | | |
| 東 淀 川 | 47 | 14 | 15 | 396 | 265 | 11 | 46 | 17 | 162 | 39 |
| 東 成 | 46 | 5 | 5 | 117 | 55 | | | | | |
| 生 野 | 39 | 8 | 5 | 279 | 155 | 23 | 30 | 13 | 361 | 74 |
| 旭 | 47 | 12 | 10 | 203 | 189 | | | | | |
| 城 東 | 47 | 7 | 11 | 126 | 223 | | | | | |
| 鶴 見 | 47 | 7 | 10 | 198 | 260 | 12 | 20 | 10 | 68 | 32 |
| 阿 倍 野 | 46 | 11 | 4 | 333 | 68 | 10 | 46 | 13 | 207 | 44 |
| 住 之 江 | 47 | 7 | 5 | 268 | 84 | | | | | |
| 住 吉 | 46 | 7 | 7 | 169 | 122 | | | | | |
| 東 住 吉 | 47 | 9 | 8 | 196 | 284 | 24 | 43 | 16 | 271 | 49 |
| 平 野 | 47 | 7 | 11 | 145 | 242 | 12 | 38 | 21 | 142 | 59 |
| 西 成 | 47 | 10 | 8 | 216 | 129 | 24 | 79 | 17 | 400 | 72 |
| 西成分館 | | | | | | | | | | |
| 合 計 | 1102 | 209 | 181 | 4967 | 3573 | 195 | 437 | 185 | 2126 | 606 |

大阪市こころの健康センター所報
(平成25年度)

発行 大阪市こころの健康センター
〒534-0027
大阪市都島区中野町5丁目15番21号
都島センタービル3階
電話 06-6922-8520